

組立・施工説明書

変形敷地対応セット

SS ポートGⅢ

ゆき盛くんⅢ・耐風くんⅢ



・鼻隠しを変更しました。

《お願い》

商品の組み立て、施工に従事される方を対象とした説明書です。
商品を長く安全にお使いいただくための、商品の組み立て方法、施工方法をまとめたものです。本説明書をよくお読みいただき、安全に正しく組み立て、施工を行ってください。

'26-6 月 発行

はじめにお読みください

このたびは、本商品をご採用いただき、誠にありがとうございます。

- ・本説明書は「変形敷地対応セット SSポートGⅢ／ゆき盛くんⅢ・耐風くんⅢ」の組み立て、施工について説明しています。
本体に同梱の組立・施工説明書をあわせて参照してください。
- ・本説明書は専門知識を有する業者様向けの内容となっております。
誤った方法で作業を行うと、不具合につながるおそれがあります。
作業には危険が伴いますので、専門知識を有する業者様が行ってください。
- ・本説明書は、必ず組み立て、施工される方にお渡しください。
お施主様向け取扱説明書は、必ずお施主様にお渡しください。

本説明書内の表記

警告／注意／お願い

- ・商品の組み立て、施工をしていただくうえで、人身事故や物的損害を未然に防止するため、守っていただきたいこととして、下記のような警告表記をしています。
内容をよくご理解のうえ、商品の組み立て、施工を行ってください。

表 記	意 味
 警 告	製品の取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負うことが想定される
 注 意	製品の取り扱いを誤った場合、使用者が軽傷を負うかまたは物的損害が生じることが想定される
お 願 い	製品の取り扱いを誤った場合、人身への危害と財産への損害には至らないが、製品自体の損傷や不具合が生じられる場合や、操作・使用・お手入れ方法などの注意喚起情報

その他の表記

表 記	意 味
	商品や作業の変更点
	作業するうえで必要な情報
	知っておくと便利な情報
	必ずシーリングをする箇所
	電動ドライバーの使用禁止
	電気工事士の資格が必要な作業

- ・一部を除き、本説明書内の単位は「mm」で示しています。

もくじ

もくじ	P.1
安全にお取り扱いいただくために	P.2
作業前の確認	P.3
同梱一覧 	P.3
角度割り出し表・三角関数表	P.5
入隅（水上側）の取り付け	P.6
制作制限	P.6
切断・加工 	P.7
鼻隠しの取り付け 	P.10
入隅（水下側）の取り付け	P.13
制作制限	P.13
切断・加工 	P.14
鼻隠しの取り付け 	P.17
出隅 A の取り付け	P.21
制作制限	P.21
切断・加工 	P.23
鼻隠しの取り付け 	P.27
出隅 B（右コーナー）の取り付け	P.30
制作制限	P.30
切断・加工 	P.31
鼻隠しの取り付け 	P.33
出隅 B（左コーナー）の取り付け	P.36
制作制限	P.36
切断・加工 	P.37
鼻隠しの取り付け 	P.39

安全にお取り扱いいただくために

作業前に確認してください

- 本体に同梱の組立・施工説明書を参照してください。



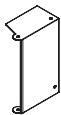
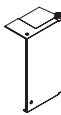
- 部材の切り詰め・加工の際は、事前に部材の仮配置などを行い、切断箇所を確認してください。

作業前の確認



同梱一覧

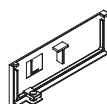
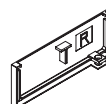
■出隅自在コーナー部品

姿 図				
品 名	出隅自在コーナー キャップA	出隅自在コーナー キャップB	なべドリルねじ (φ4×19) (コーティング材塗布)	なべドリルねじ (φ4×19) (コーティング材塗布)
品 番	3K-33781	3K-33782	DN-4019B-SC	DN-4019B-SC
MCD-(DS)EV-AV2	2	2	12	2
備 考	—	—	出隅自在コーナー キャップ取り付け用	鼻隠し取り付け用

■入隅コーナー部品

姿 図						
品 名	コーナーキャップ	入隅コーナー キャップ	なべドリルねじ (φ4×19) (コーティング材塗布)	なべドリルねじ (φ4×19) (コーティング材塗布)	なべドリルねじ (φ4×19) (コーティング材塗布)	なべドリルねじ (φ4×19) (コーティング材塗布)
品 番	3K-33777	3K-33780	DN-4019B-SC	DN-4019B-SC	DN-4019B-SC	DN-4019B-SC
MCD-(DS)EV-BV2	1	1	1	4	1	2
備 考	—	—	コーナーキャップ 取り付け用	入隅コーナー キャップ 取り付け用	雨樋枠キャップ、 鼻隠し連結用	鼻隠し 取り付け用

■雨樋部品

姿 図						
品 名	雨樋セット	ゴミ出しエルボ	雨樋枠キャップ	雨樋枠キャップ	ドレイン	トラスタッピンねじ (φ5×10) (コーティング剤塗布)
品 番	EA-F1N	2K-38866	3K-33778	3K-34007	K-36979	ET-5010-SC
MCD-(DS)EV-CV2	1	1	1	1	1	2
備 考	—	—	L	R	—	雨樋キャップ 取り付け用

姿 図		
品 名	なべドリルねじ (φ4×19) (コーティング剤塗布)	トラスタッピンねじ (φ5×10) (コーティング剤塗布)
品 番	DN-4019B-SC	ET-5010-SC
MCD-(DS)EV-CV2	6	2
備 考	雨樋セット 取り付け用	ドレイン 取り付け用

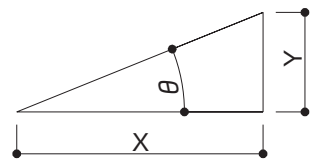
■たて樋

姿 図	
品 名	たて樋
品 番	2K-38903
MCD-(DS)QT30	1
備 考	L=3000

■たて樋

姿 図	
品 名	たて樋
品 番	2K-38903
MCD-(DS)QT13	—
備 考	L=1300

角度割り出し表・三角関数表



θ	X	Y	$\cos \theta$	$\tan \theta$
1.0°	1000	17	0.99985	0.01746
1.5°		26	0.99966	0.02619
2.0°		35	0.99939	0.03492
2.5°		44	0.99905	0.04366
3.0°		52	0.99863	0.05241
3.5°		61	0.99813	0.06116
4.0°		70	0.99756	0.06993
4.5°		79	0.99692	0.07870
5.0°		87	0.99619	0.08749
6.0°		105	0.99452	0.10510
7.0°	1000	123	0.99255	0.12278
8.0°		141	0.99027	0.14054
9.0°		158	0.98769	0.15838

入隅（水上側）の取り付け

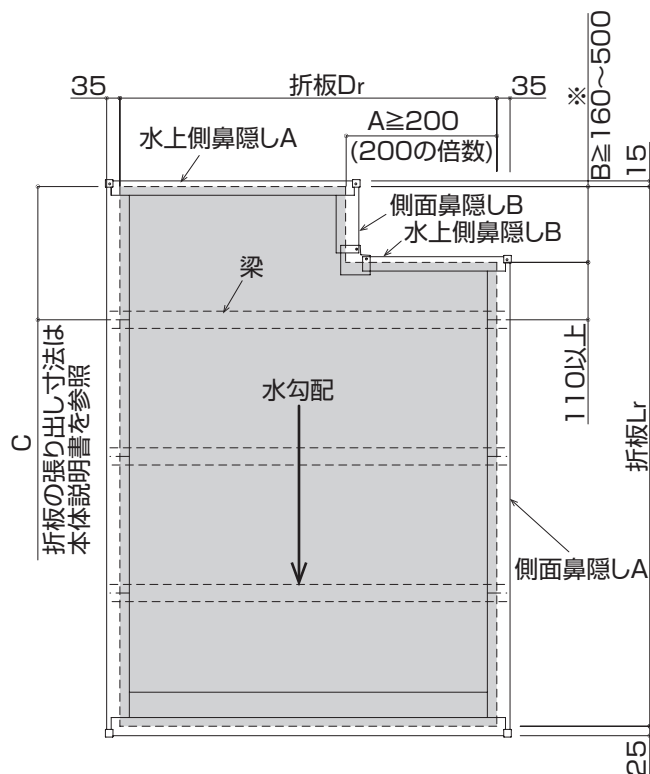
制作制限



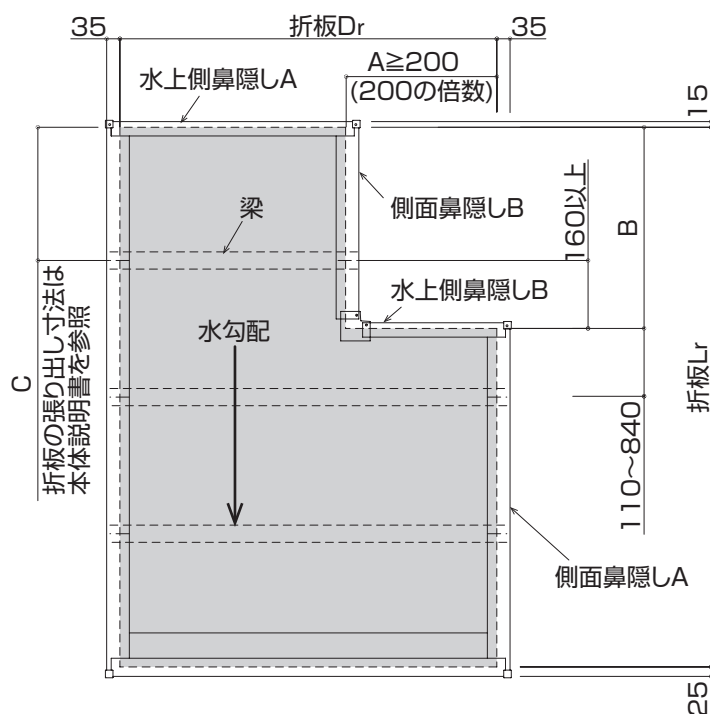
- 4本柱の場合、梁を超えて切り詰めることはできません。
- 入隅寸法Aは、折板山ピッチ200の倍数としてください。

●入隅部に梁が入らない場合

※：4本柱仕様のみ



●入隅部に梁が入る場合





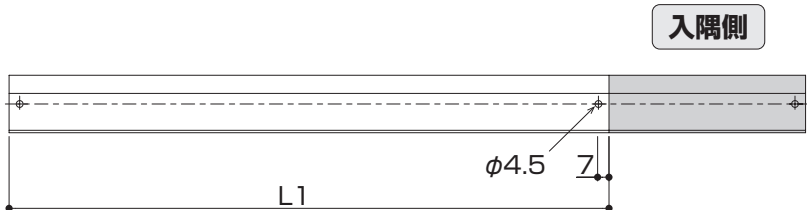
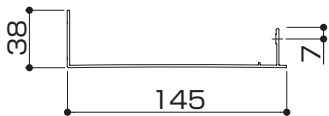
切断・加工

- 部は切断部を示しています。

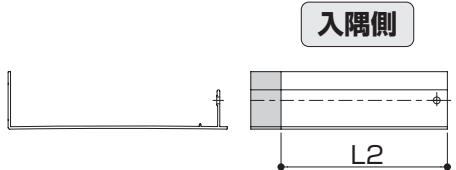
水上側鼻隠し

1 水上側鼻隠しを切断・加工してください。

● 水上側鼻隠しA



● 水上側鼻隠しB



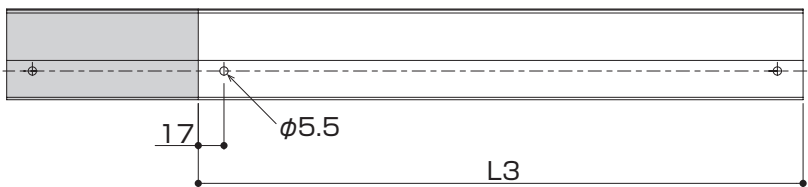
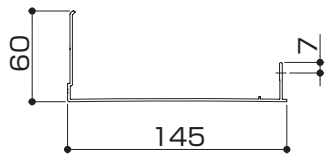
■ 切断寸法表

寸法例	条件		入隅寸法	水上側鼻隠しA	水上側鼻隠しB
	Dr	Lr	A	$L1 = Dr - A + 46$	$L2 = A - 17$
	5400	5390	1200	4246	1183

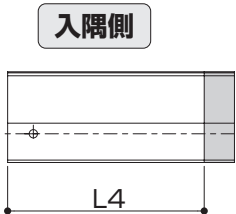
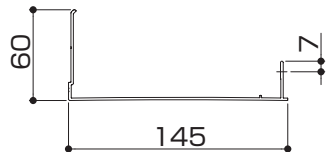
側面鼻隠し

1 側面鼻隠しを切断・加工してください。

● 側面鼻隠しA



● 側面鼻隠しB

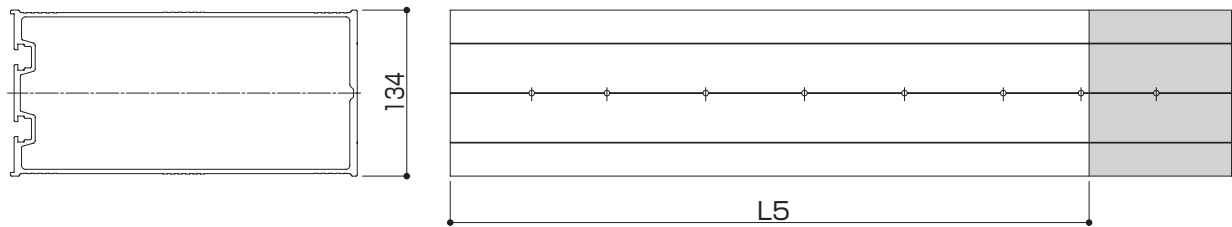


■ 切断寸法表

寸法例	条件		入隅寸法	側面鼻隠しA	側面鼻隠しB
	Dr	Lr	B	$L3 = Lr + 36 - B$	$L4 = B - 7$
	5400	5390	300	5126	293

梁（入隅部に梁が入る場合）

1 梁を切断してください。



■切断寸法表

寸法例	条件		入隅寸法	梁
	Dr	Lr	A	$L5 = Dr - A$
	5400	5390	1200	4200

タイトフレーム（中間用）（入隅部に梁が入る場合）

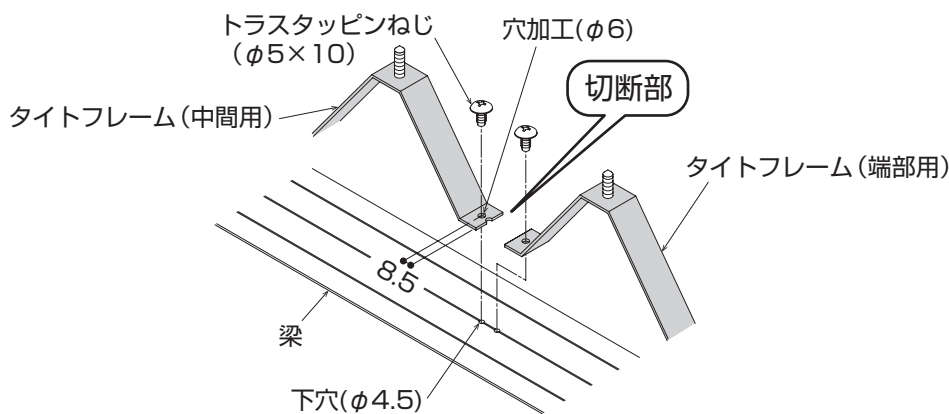


・入隅寸法Aが600の倍数以外の場合

タイトフレーム（中間用）の切断、加工を行ってください。

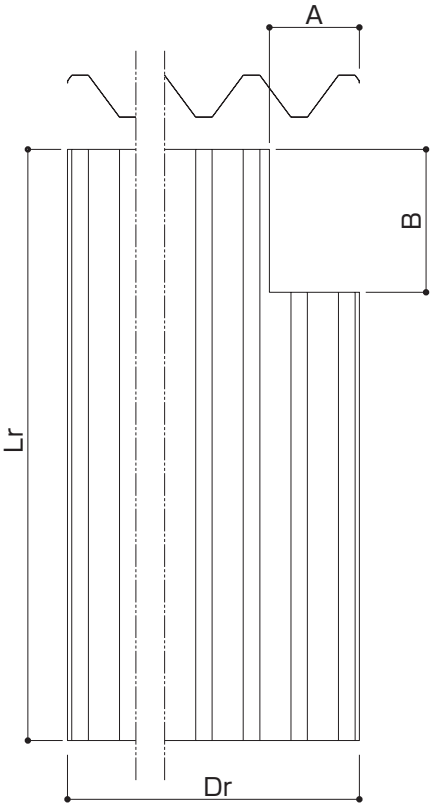
入隅寸法A	タイトフレーム（中間用）切断、加工
600の倍数	不要
600の倍数以外	必要

- 1 タイトフレーム（中間用）を入隅寸法Aにあわせて、谷の中心で切断してください。
- 2 切断面から8.5mmの位置に穴加工（φ6）してください。
- 3 梁に下穴（φ4.5）をあけ、タイトフレームを取り付けてください。



折板

1 折板を切断してください。



- 折板は電動ニブラなどを使用すると、容易に切断できます。
- 折板にテープを貼って位置決めすると、容易に切断できます。

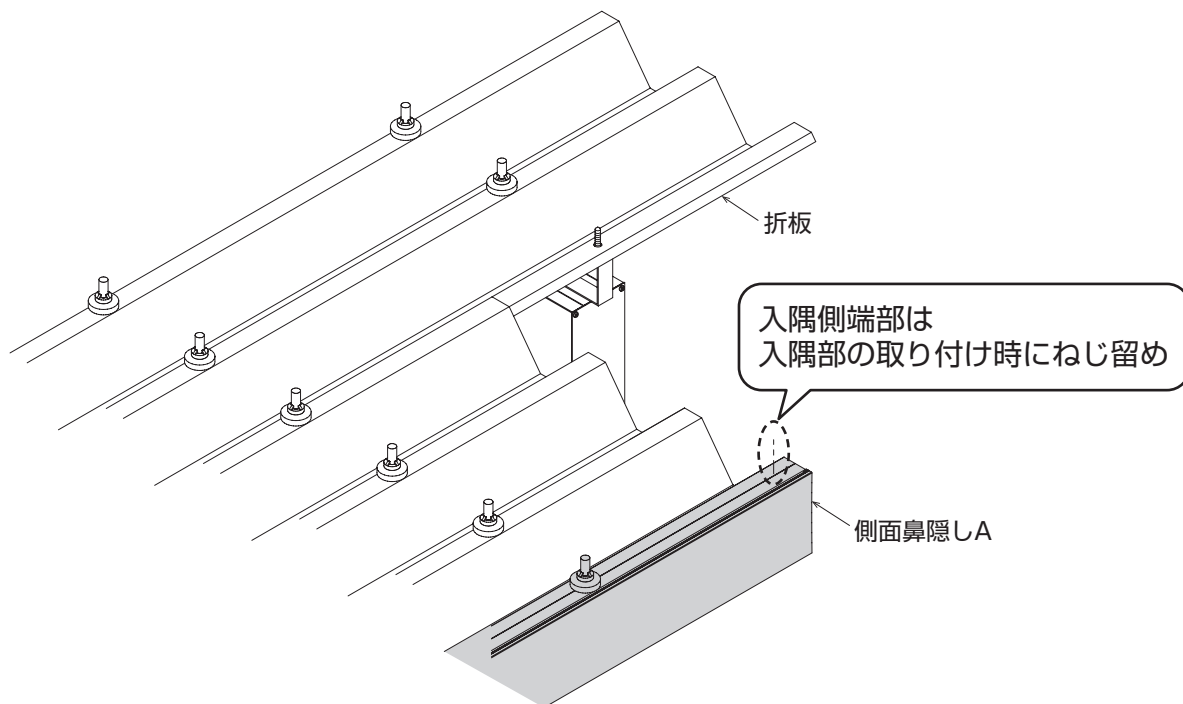
■切断寸法表

寸法例	条件		入隅寸法	
	Dr	Lr	A	B
	5400	5390	1200	300

鼻隠しの取り付け

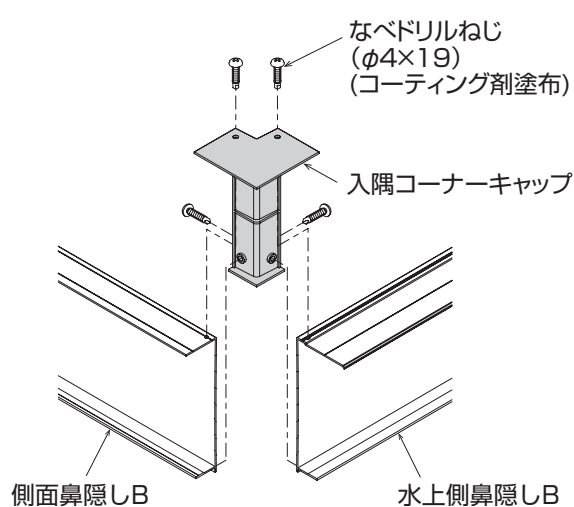
側面鼻隠しAの取り付け

- 1 本体に同梱の組立・施工説明書を参照し、側面鼻隠しAを取り付けてください。
ただし、入隅側端部は入隅部の取り付け時にねじ留めしてください。



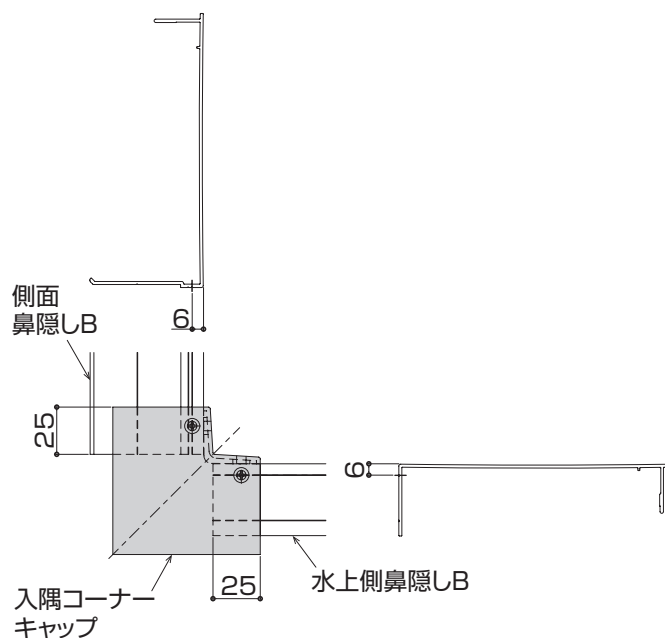
水上側鼻隠しBと側面鼻隠しBの連結

- 1 側面鼻隠しBと水上側鼻隠しBを入隅コーナーキャップで連結してください。



- 現合でφ3.0の下穴をあけると組み立てやすくなります。

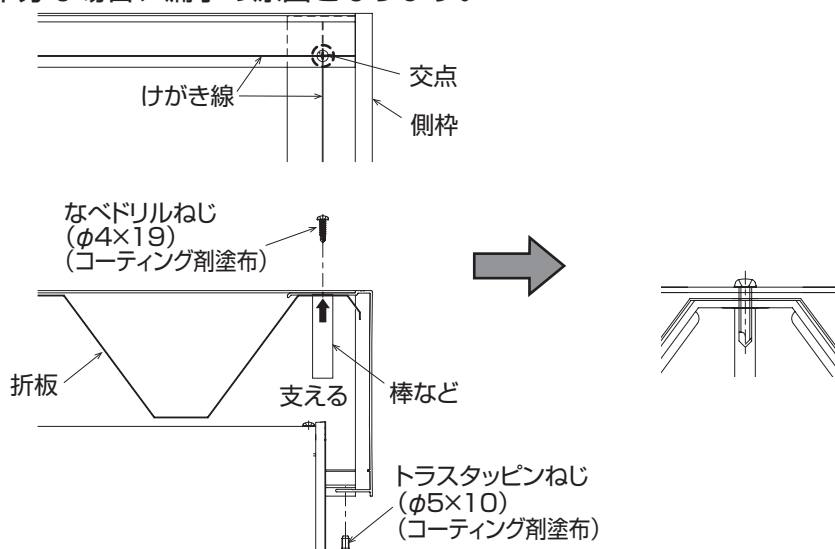
●入隅コーナーキャップのみ込み寸法



入隅部の取り付け

お願い

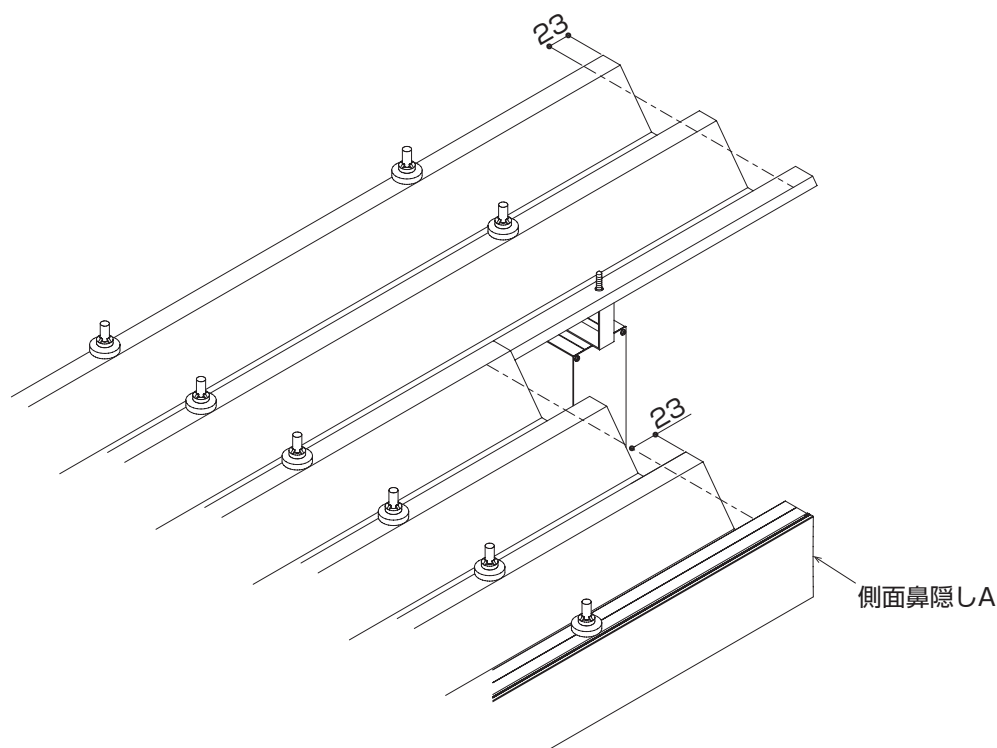
- ねじ固定位置は鼻隠しのけがき線交点です。下から折板を支えながらねじを折板まで貫通させてください。
取り付けが不十分な場合、漏水の原因となります。



- 折板の端部から23mmの位置に水性ペン、またはテープなどで印を付けてください。



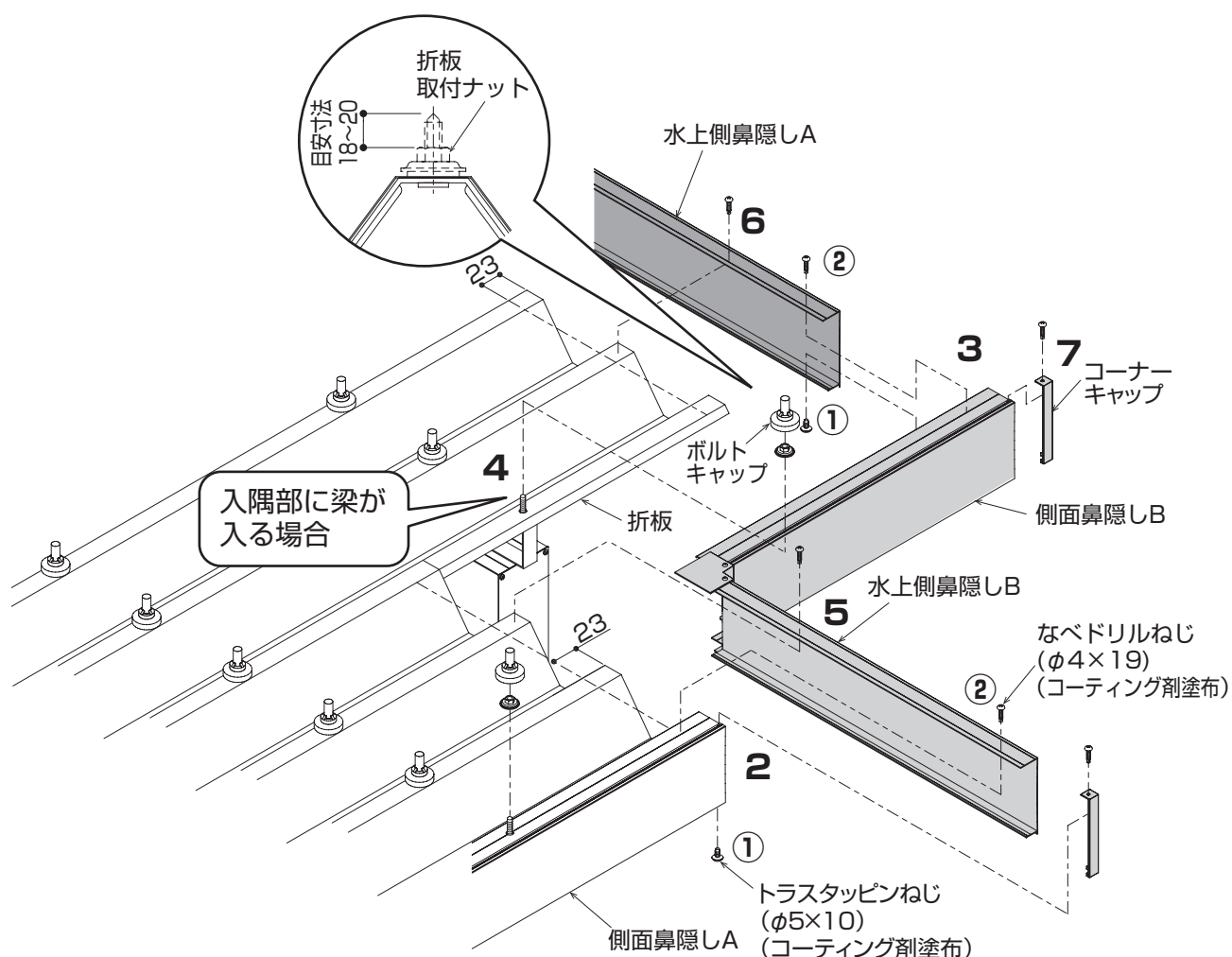
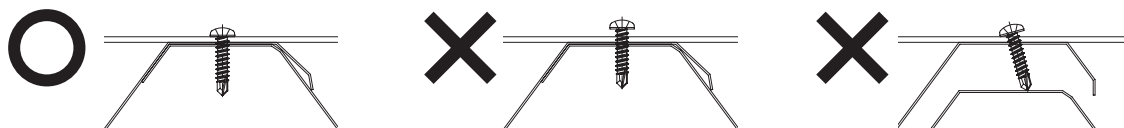
- 折板にけがき線などのキズをつけないでください。さびの原因となります。



- 2** 水上側鼻隠しBを折板の印にあわせてかぶせ、側面鼻隠しAと下面→上面の順に連結してください。
- 3** 水上側鼻隠しAを折板の印にあわせてかぶせ、側面鼻隠しBと下面→上面の順に連結してください。
- 4** **入隅部に梁が入る場合**
側面鼻隠しBを折板取付ナットで固定し、木づちなどでボルトキャップをたたきこんでください。
- 5** 水上側鼻隠しBと側面鼻隠しBの穴にあわせ、現合で折板、側面鼻隠しAと水上側鼻隠しAに取り付けてください。
- 6** 水上側鼻隠しAの穴にあわせ、現合で折板に取り付けてください。
- 7** 本体に同梱の組立・施工説明書を参照し、コーナーキャップを取り付けてください。

お願い

- 屋根材の取付ねじは、取り付け面に対して垂直に取り付けてください。
ねじの浮き、締め込み不足および斜めの取り付けは雨漏りの原因となります。



入隅（水下側）の取り付け

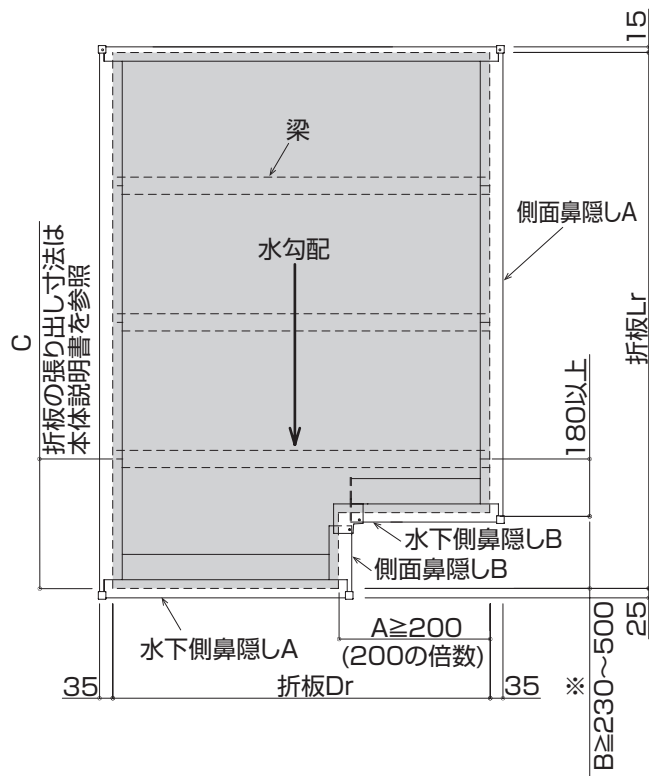
制作制限



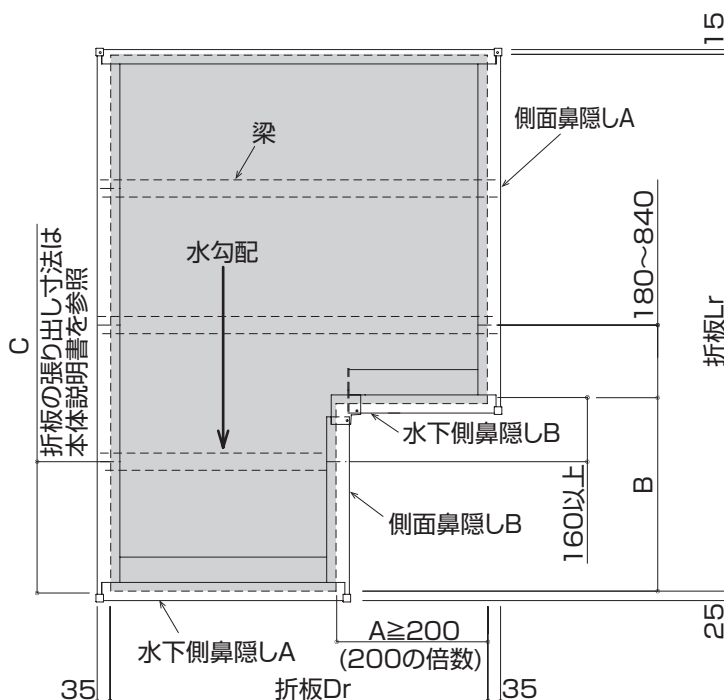
- 4本柱の場合、梁を超えて切り詰めることはできません。
- 入隅寸法Aは、折板山ピッチ200の倍数としてください。

●入隅部に梁が入らない場合

※：4本柱仕様のみ



●入隅部に梁が入る場合



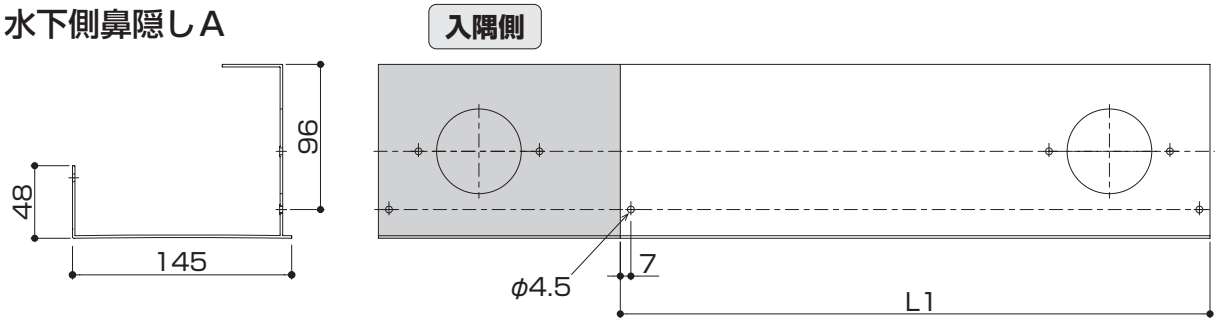
切断・加工

- 部は切断部を示しています。

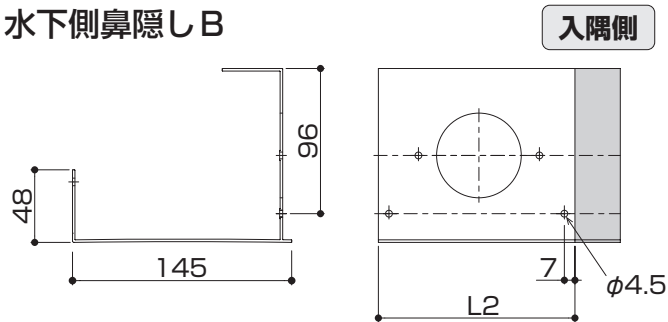
水下側鼻隠し

1 水下側鼻隠しを切断・加工してください。

● 水下側鼻隠しA



● 水下側鼻隠しB



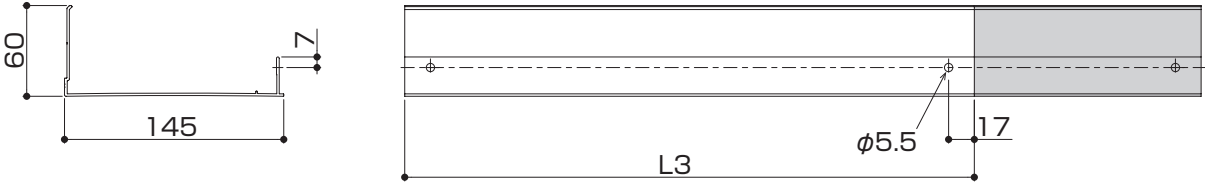
■ 切断寸法表

寸法例	条件		入隅寸法	水下側鼻隠しA	水下側鼻隠しB
	Dr	Lr	A	$L1 = Dr + 46 - A$	$L2 = A - 17$
	5400	5390	1200	4246	1183

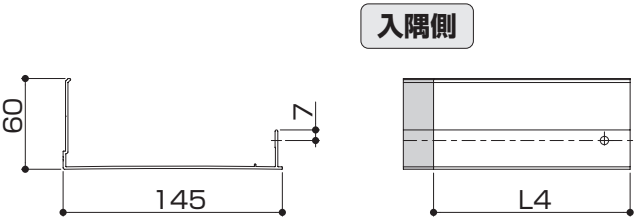
側面鼻隠し

1 側面鼻隠しを切断・加工してください。

●側面鼻隠しA



●側面鼻隠しB

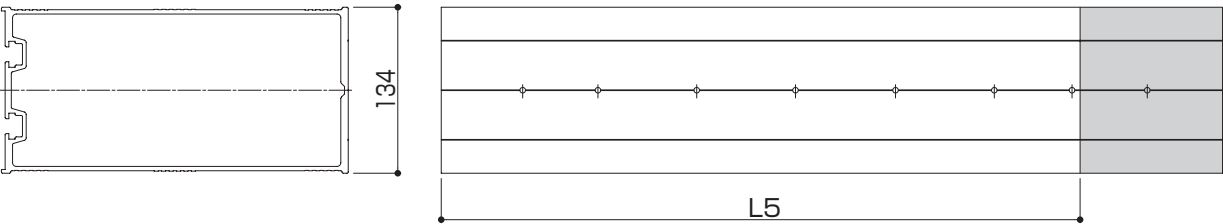


■切断寸法表

寸法例	条件		入隅寸法	側面鼻隠しA	側面鼻隠しB
	Dr	Lr	B	$L3 = Lr + 36 - B$	$L4 = B - 7$
	5400	5390	300	5126	293

梁（入隅部に梁が入る場合）

1 梁を切断してください。



■切断寸法表

寸法例	条件		入隅寸法	梁
	Dr	Lr	A	$L5 = Dr - A$
	5400	5390	1200	4200

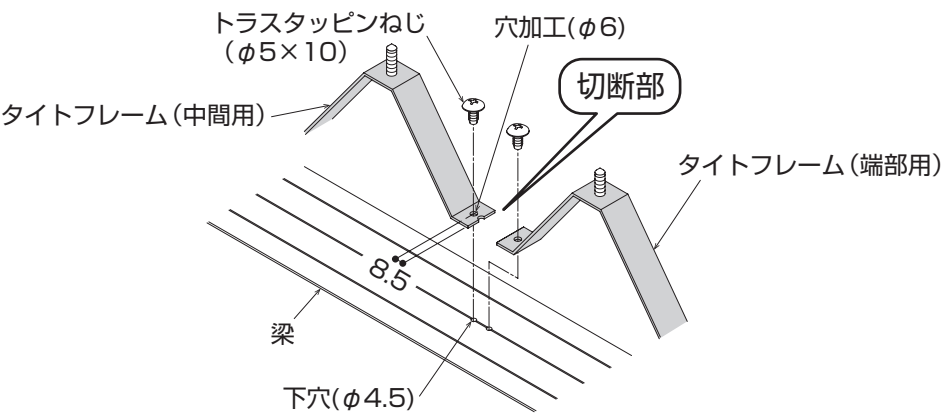
タイトフ্রেーム（中間用）（入隅部に梁が入る場合）



- 入隅寸法Aが600の倍数以外の場合は、タイトフ্রেーム（中間用）の切断、加工を行ってください。

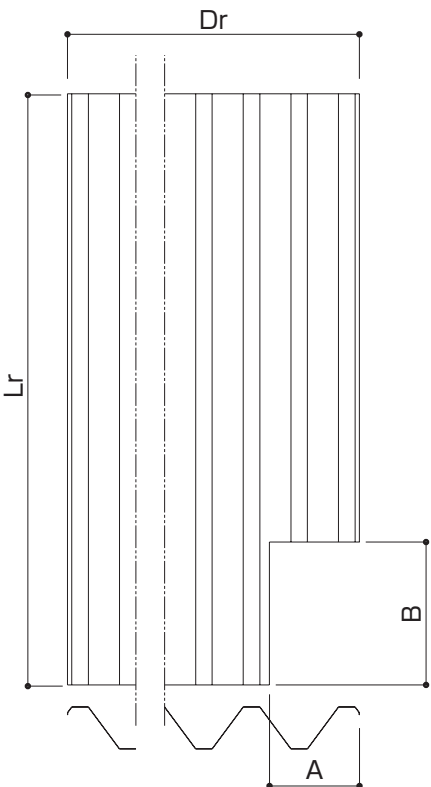
入隅寸法A	タイトフ্রেーム（中間用）切断、加工
600の倍数	不要
600の倍数以外	必要

- タイトフ্রেーム（中間用）を入隅寸法Aにあわせて、谷の中心で切断してください。
- 切断面から8.5mmの位置に穴加工（φ6）してください。
- 梁に下穴（φ4.5）をあけ、タイトフ্রেームを取り付けてください。



折板

- 折板を切断してください。



- 折板は電動ニブラなどを使用すると、容易に切断できます。
- 折板にテープを貼って位置決めすると、容易に切断できます。

■切断寸法表

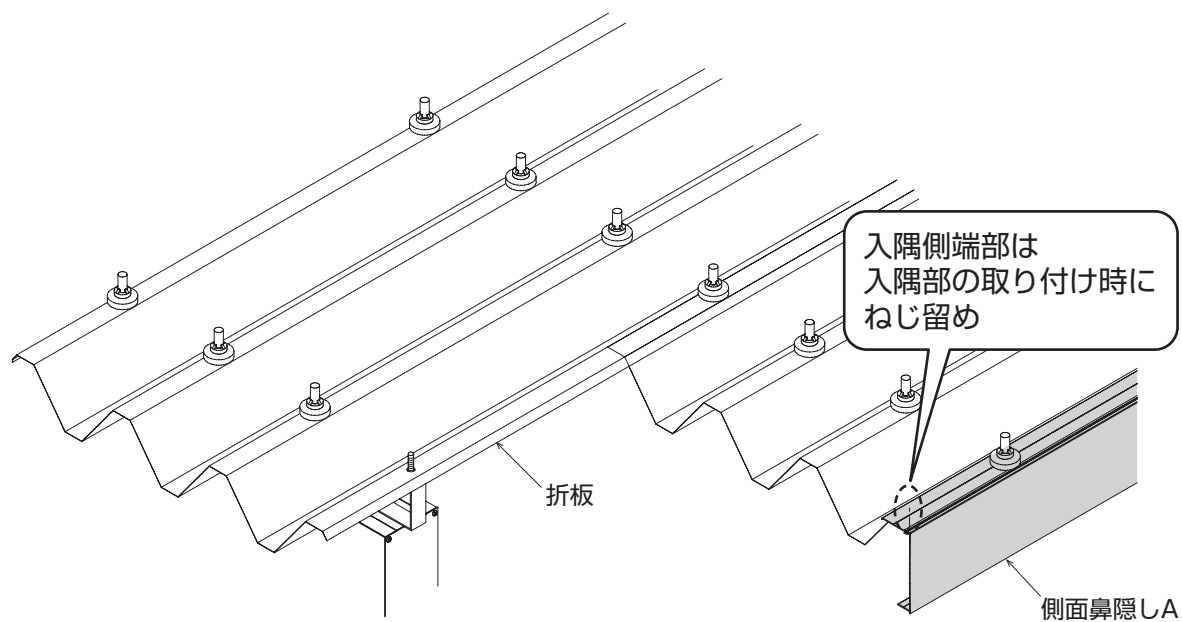
寸法例	条件		入隅寸法	
	Dr	Lr	A	B
	5400	5390	1200	300



鼻隠しの取り付け

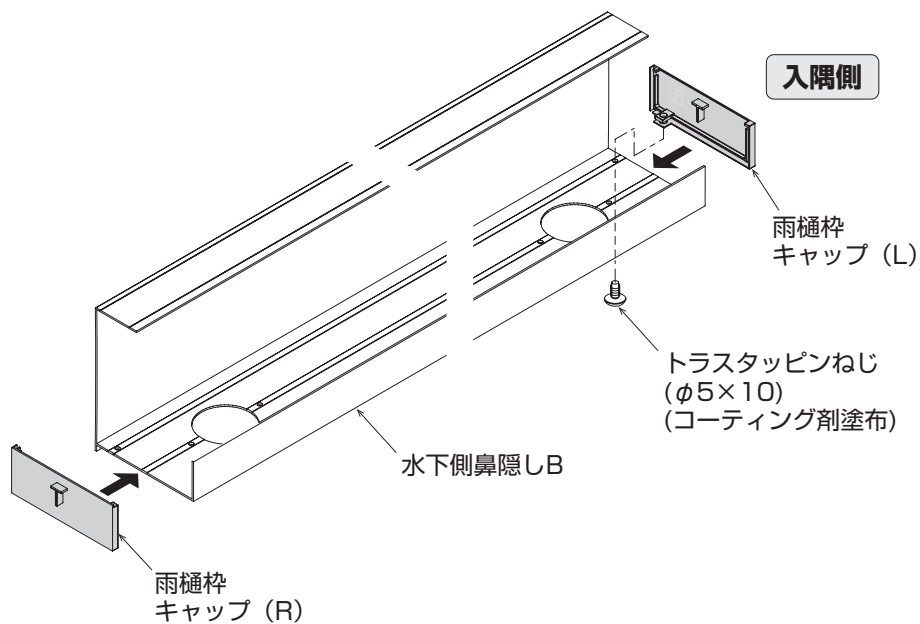
側面鼻隠しAの取り付け

- 1 本体に同梱の組立・施工説明書を参照し、側面鼻隠しAを取り付けてください。
ただし、入隅側端部は、入隅部の取り付け時にねじ留めしてください。



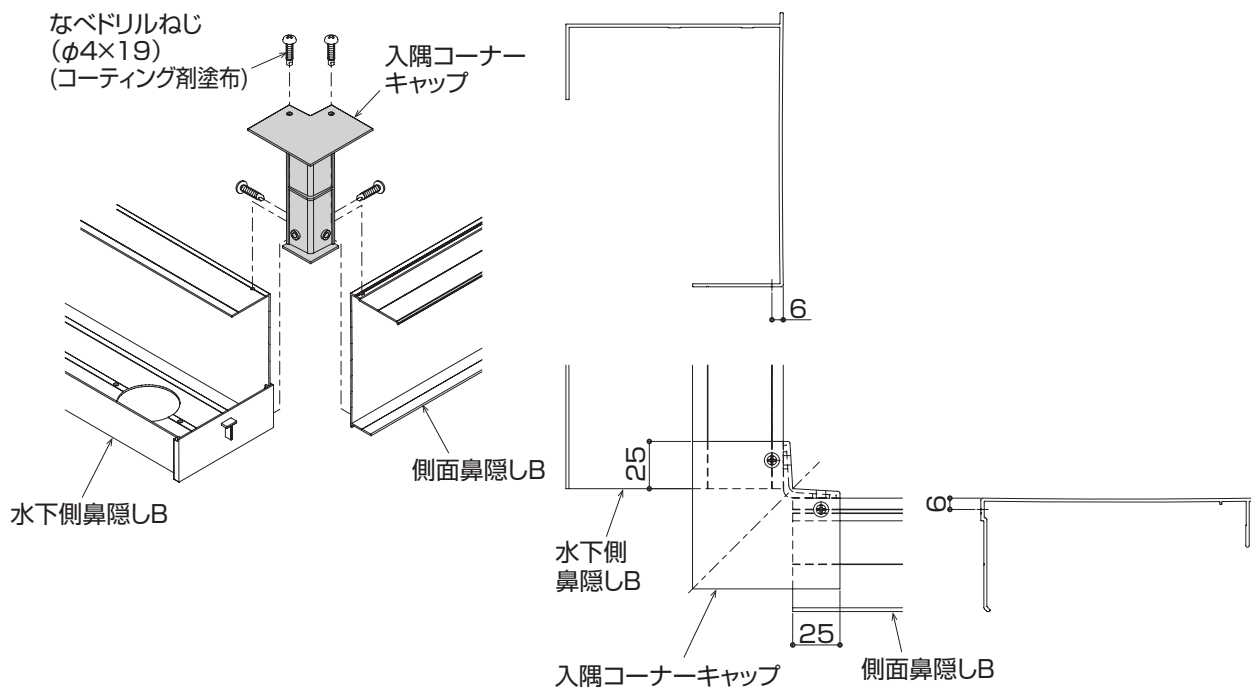
水下側鼻隠しBと側面鼻隠しBの連結

- 1 本体に同梱の組立・施工説明書を参照し、雨樋枠キャップを水下側鼻隠しBの両端部に取り付けてください。



- 2 水下側鼻隠しBと側面鼻隠しBを入隅コーナーキャップで連結してください。

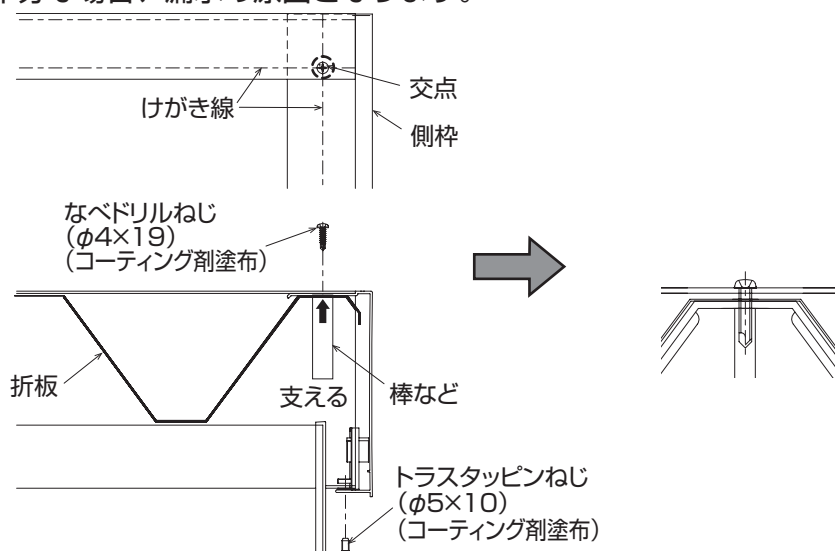
●入隅コーナーキャップのみ込み寸法



入隅部の取り付け

お願い

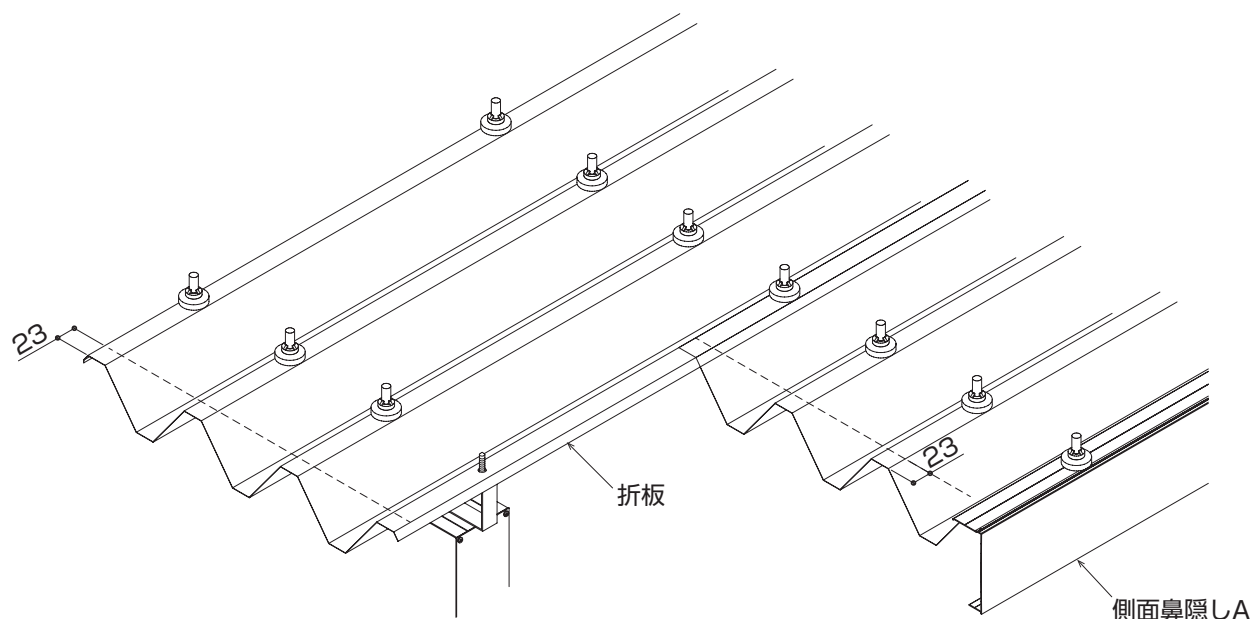
- ねじ固定位置は鼻隠しのけがき線交点です。下から折板を支えながらねじを折板まで貫通させてください。
取り付けが不十分な場合、漏水の原因となります。



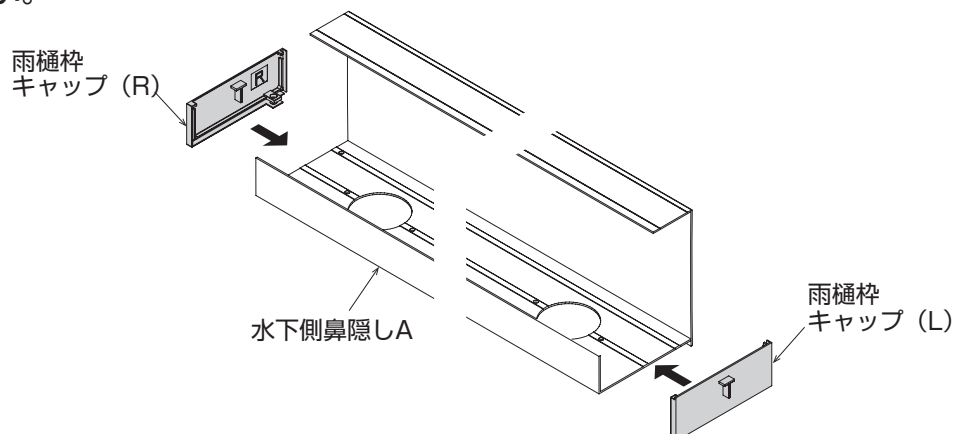
- 折板の端部から、23mmの位置に水性ペン、またはテープなどで印を付けてください。



- 折板にけがき線などのキズをつけないでください。さびの原因となります。



- 2** 本体に同梱の組立・施工説明書を参照し、雨樋枠キャップを水下側鼻隠しAの両端部に取り付けてください。



- 3** 水下側鼻隠しBを折板の印にあわせてかぶせ、側面鼻隠しAと下面→上面の順に連結してください。

- 4** 水下側鼻隠しAを折板の印にあわせてかぶせ、側面鼻隠しBと下面→上面の順に連結してください。

5 入隅部に梁が入る場合

側面鼻隠しBを折板取付ナットで固定し、木づちなどでボルトキャップをたたきこんでください。

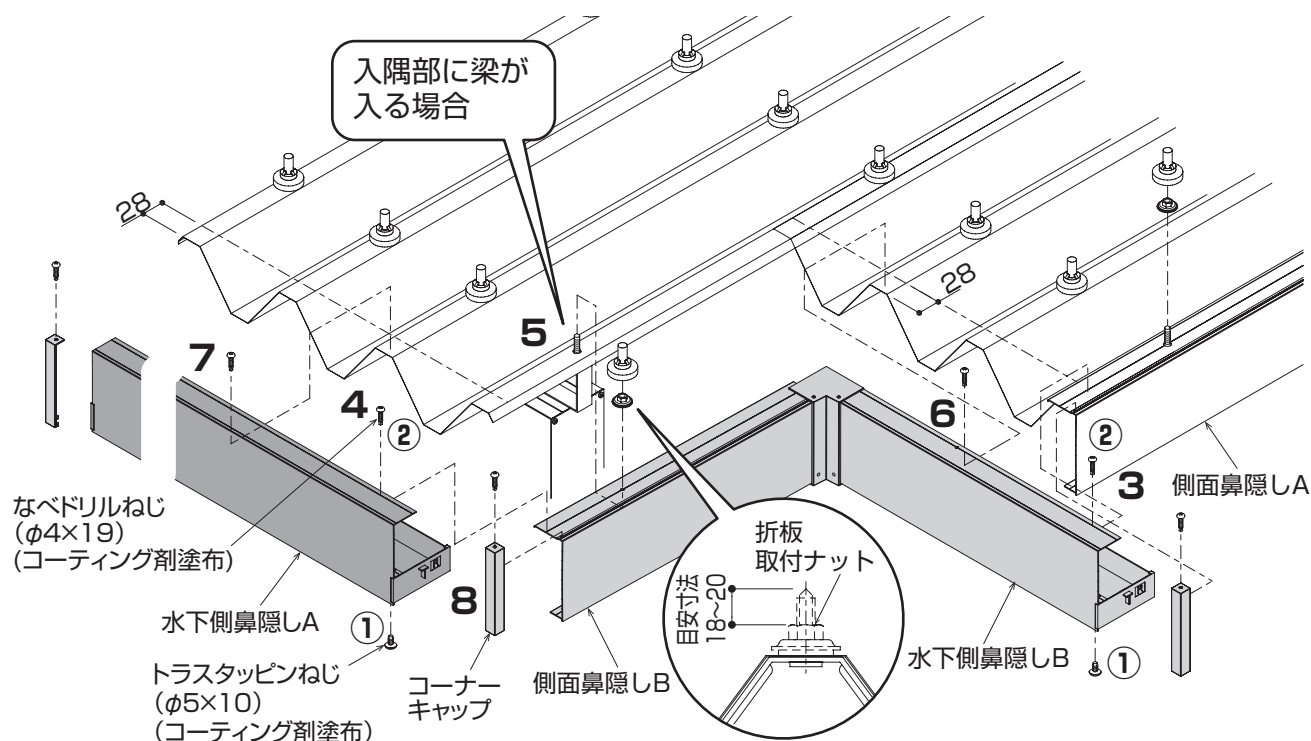
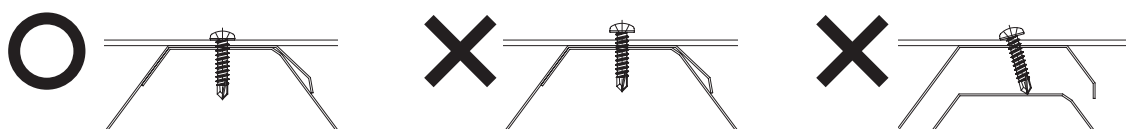
- 6** 側面鼻隠しBと水下側鼻隠しBの穴にあわせ、現合で折板、水下側鼻隠しAと側面鼻隠しAに取り付けてください。

- 7** 水下側鼻隠しAの穴にあわせ、現合で折板に取り付けてください。

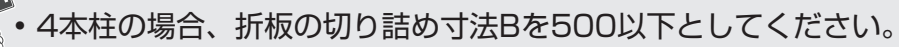
- 8** 本体に同梱の組立・施工説明書を参照し、コーナーキャップを取り付けてください。

お願い

- 屋根材の取付ねじは、取り付け面に対して垂直に取り付けてください。
ねじの浮き、締め込み不足および斜めの取り付けは雨漏りの原因となります。



制作制限



※：水上側切り詰めの場合110以上、水下側切り詰めの場合175以上



■単体／たて（2）連棟

	カーポート			折板屋根		対応可能変更敷地条件		
	側面から見た柱本数	間口呼称	奥行呼称	Dr	Lr	P	A	θ
単体／たて（2）連棟	2本	30	55	3000	5390	3100	1145	9.0°以下
			60	3000	5900	3400	1250	9.0°以下
		36	55	3600	5390	3100	1145	7.5°以下
			60	3600	5900	3400	1250	7.5°以下
		48	55	4800	5390	3100	1145	5.5°以下
			60	4800	5900	3400	1250	5.5°以下
		55	55	5400	5390	3100	1145	5.0°以下
			60	5400	5900	3400	1250	5.0°以下
		60	55	6000	5390	3100	1145	4.5°以下
			60	6000	5900	3400	1250	4.5°以下
		80	55	7800	5390	3100	1145	3.5°以下
			60	7800	5900	3400	1250	3.5°以下
	3本	30	55	3000	5390	1800	895	9.0°以下
			60	3000	5900	2000	950	9.0°以下
		36	55	3600	5390	1800	895	7.5°以下
			60	3600	5900	2000	950	7.5°以下
		48	55	4800	5390	1800	895	5.5°以下
			60	4800	5900	2000	950	5.5°以下
		55	55	5400	5390	1800	895	5.0°以下
			60	5400	5900	2000	950	5.0°以下
		60	55	6000	5390	1800	895	4.5°以下
			60	6000	5900	2000	950	4.5°以下
	4本	30	55	3000	5390	1400	595	7.0°以下
			60	3000	5900	1500	700	9.0°以下
		36	55	3600	5390	1400	595	6.0°以下
			60	3600	5900	1500	700	7.5°以下
		48	55	4800	5390	1400	595	4.0°以下
			60	4800	5900	1500	700	5.5°以下
		55	55	5400	5390	1400	595	4.0°以下
			60	5400	5900	1500	700	5.0°以下
		60	55	6000	5390	1400	595	3.5°以下
			60	6000	5900	1500	700	4.5°以下
		80	55	7800	5390	1400	595	2.5°以下
			60	7800	5900	1500	700	3.5°以下

■間口延長／横（2）連棟

	カーポート			折板屋根		対応可能変更敷地条件		
	側面から見た柱本数	間口呼称	奥行呼称	Dr	Lr	P	A	θ
間口延長	2本	48+18	55	6600	5390	3100	1145	4.5°以下
			60	6600	5900	3400	1250	4.5°以下
		55+18	55	7200	5390	3100	1145	3.5°以下
			60	7200	5900	3400	1250	3.5°以下
		60+18	55	7800	5390	3100	1145	4.5°以下
			60	7800	5900	3400	1250	4.5°以下
		80+18	55	9600	5390	3100	1145	3.5°以下
			60	9600	5900	3400	1250	3.5°以下
	3本	48+18	55	6600	5390	1800	895	4.0°以下
			60	6600	5900	2000	950	4.0°以下
		55+18	55	7200	5390	1800	895	3.0°以下
			60	7200	5900	2000	950	3.0°以下
		60+18	55	7800	5390	1800	895	4.5°以下
			60	7800	5900	2000	950	4.5°以下
	4本	48+18	55	6600	5390	1400	595	3.0°以下
			60	6600	5900	1500	700	4.0°以下
		55+18	55	7200	5390	1400	595	3.0°以下
			60	7200	5900	1500	700	3.5°以下
		60+18	55	7800	5390	1400	595	2.5°以下
			60	7800	5900	1500	700	3.5°以下
		80+18	55	9600	5390	1400	595	2.0°以下
			60	9600	5900	1500	700	2.5°以下
横（2）連棟	2本	55+55	55	10800	5390	3100	1145	2.5°以下
			60	10800	5900	3400	1250	2.5°以下
		55+60	55	11400	5390	3100	1145	2.0°以下
			60	11400	5900	3400	1250	2.0°以下
		60+60	55	12000	5390	3100	1145	2.0°以下
			60	12000	5900	3400	1250	2.0°以下
		80+80	55	15600	5390	3100	1145	1.5°以下
			60	15600	5900	3400	1250	1.5°以下
	3本	55+55	55	10800	5390	1800	895	2.5°以下
			60	10800	5900	2000	950	2.5°以下
		55+60	55	11400	5390	1800	895	2.0°以下
			60	11400	5900	2000	950	2.0°以下
		60+60	55	12000	5390	1800	895	2.0°以下
			60	12000	5900	2000	950	2.0°以下
	4本	55+55	55	10800	5390	1400	595	2.0°以下
			60	10800	5900	1500	700	2.0°以下
		55+60	55	11400	5390	1400	595	1.5°以下
			60	11400	5900	1500	700	2.0°以下
		60+60	55	12000	5390	1400	595	1.5°以下
			60	12000	5900	1500	700	2.0°以下
		80+80	55	15600	5390	1400	595	1.0°以下
			60	15600	5900	1500	700	1.5°以下

切断・加工

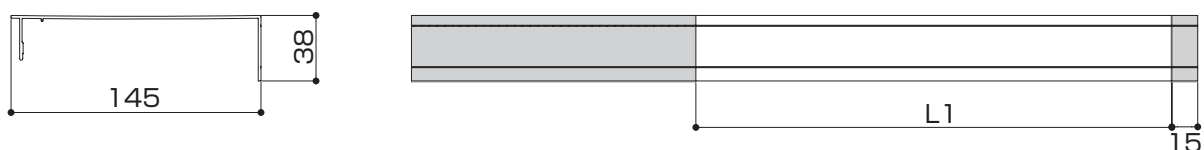


- 部は切断部を示しています。

鼻隠し

1 水上側切り詰めの場合

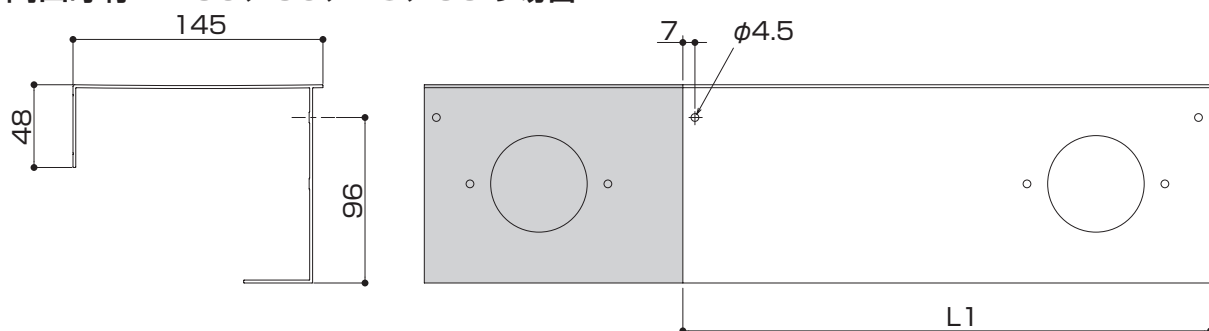
鼻隠し（水上側）の端部15mmを切断し、L1寸法に切断してください。



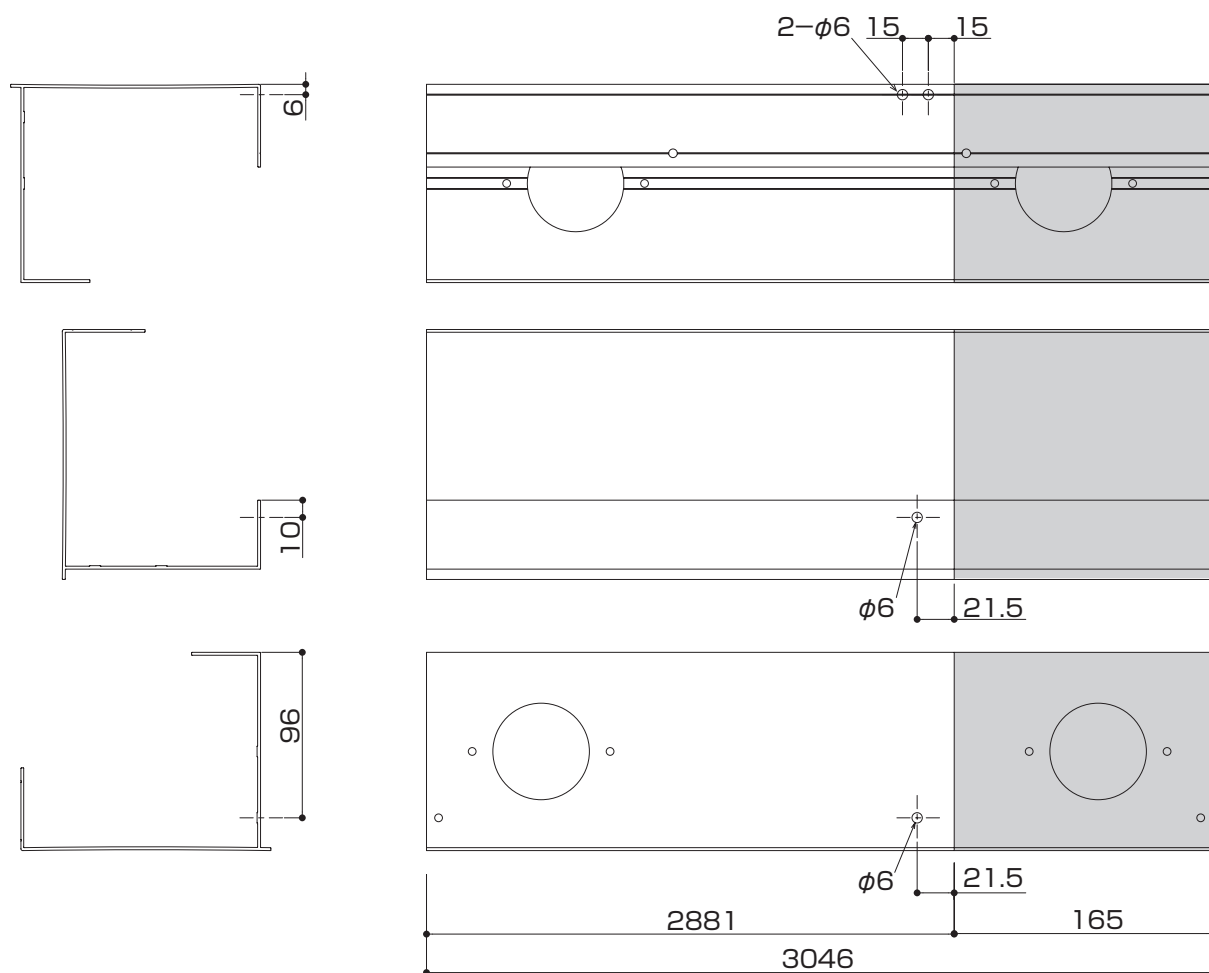
2 水下側切り詰めの場合

鼻隠し（水下側）を切断・加工してください。

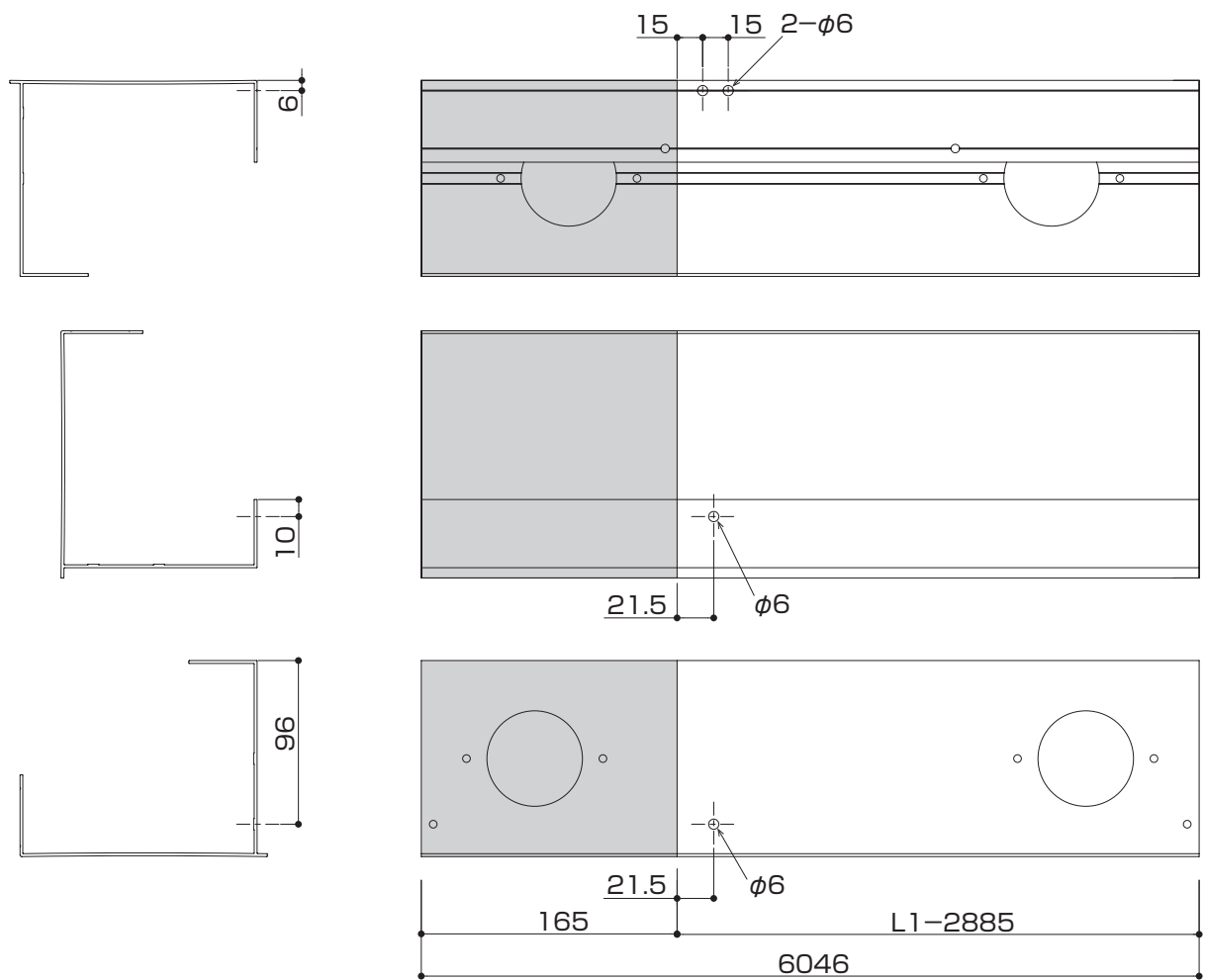
- 間口呼称：D30、36、48、55の場合



- 間口呼称：D60、80の場合(1本入、D30用) L：3046



●間口呼称：D60、80の場合 L：6046



■切断寸法表

寸法例	条件		θ	出隅寸法	C	E	F	G	鼻隠し (水上側または水下側)
	Dr	Lr		$B=Dr \times \tan \theta$					$L1=Dr \div \cos \theta - E - F$
	5400	5390		378	39	29	26	36	5358

■寸法公式

C	$27.5 \times \tan \theta - 17.5 / \cos \theta + 55$
E	$17.5 \times \tan \theta - 27.5 / \cos \theta + 55$
F	$55 - 17.5 \times \tan \theta - 27.5 / \cos \theta$
G	$55 - 27.5 \times \tan \theta - 17.5 / \cos \theta$

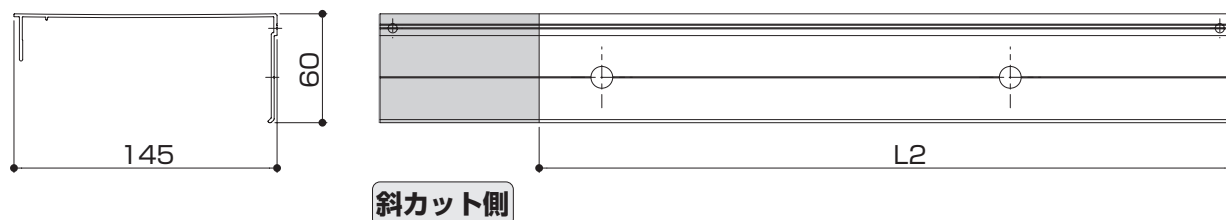
■寸法表

θ	C	E	F	G
1°	38	28	27	37
1.5°				
2°				
2.5°	39	29	26	36
3°				
3.5°				
4°	40	29	26	35
4.5°				
5°				
6°	41	30	25	34
7°				
8°				
9°	42	30	24	33

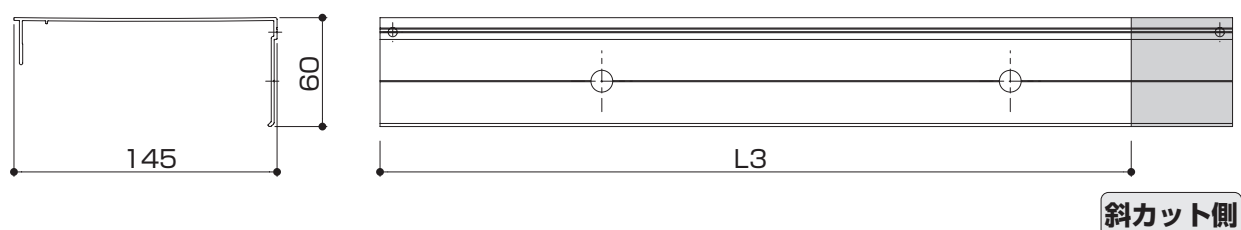
側面鼻隠し

1 側面鼻隠しを切断してください。

●側面鼻隠しA



●側面鼻隠しB



■切断寸法表

寸法例	条件		θ	出隅寸法	C	E	F	G	J	側面鼻隠しA	側面鼻隠しB
	Dr	Lr		$B = Dr \times \tan \theta$						$L2 = Lr - B - C + J$	$L3 = Lr - G + J$
	5400	5390	4°	378	39	29	26	36	13	4986	5367

■寸法公式

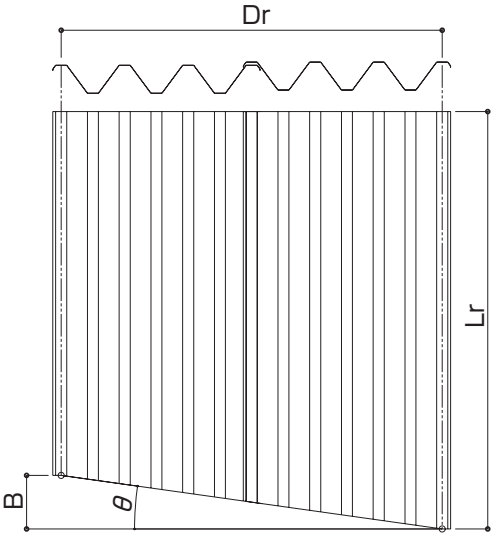
C	$27.5 \times \tan \theta - 17.5 / \cos \theta + 55$
E	$17.5 \times \tan \theta - 27.5 / \cos \theta + 55$
F	$55 - 17.5 \times \tan \theta - 27.5 / \cos \theta$
G	$55 - 27.5 \times \tan \theta - 17.5 / \cos \theta$
J	13(水下側斜カット) 23(水上側斜カット)

■寸法表

θ	C	E	F	G
1°	38	28	27	37
1.5°				
2°				
2.5°	39	29	26	36
3°				
3.5°				
4°	40	30	25	35
4.5°				
5°				
6°	41	31	24	34
7°				
8°				
9°	42			33

折板

1 折板を切断してください。



- 折板は電動ニブラなどを使用すると、容易に切断できます。
- 折板にテープを貼って位置決めすると、容易に切断できます。

■切断寸法表

寸法例	条件		出隅寸法
	Dr	Lr	$B = Dr \times \tan \theta$
	5400	5390	378

鼻隠しの取り付け

側面鼻隠しA、側面鼻隠しBの取り付け

1 本体に同梱の組立・施工説明書を参照し、側面鼻隠しA、側面鼻隠しBを取り付けてください。

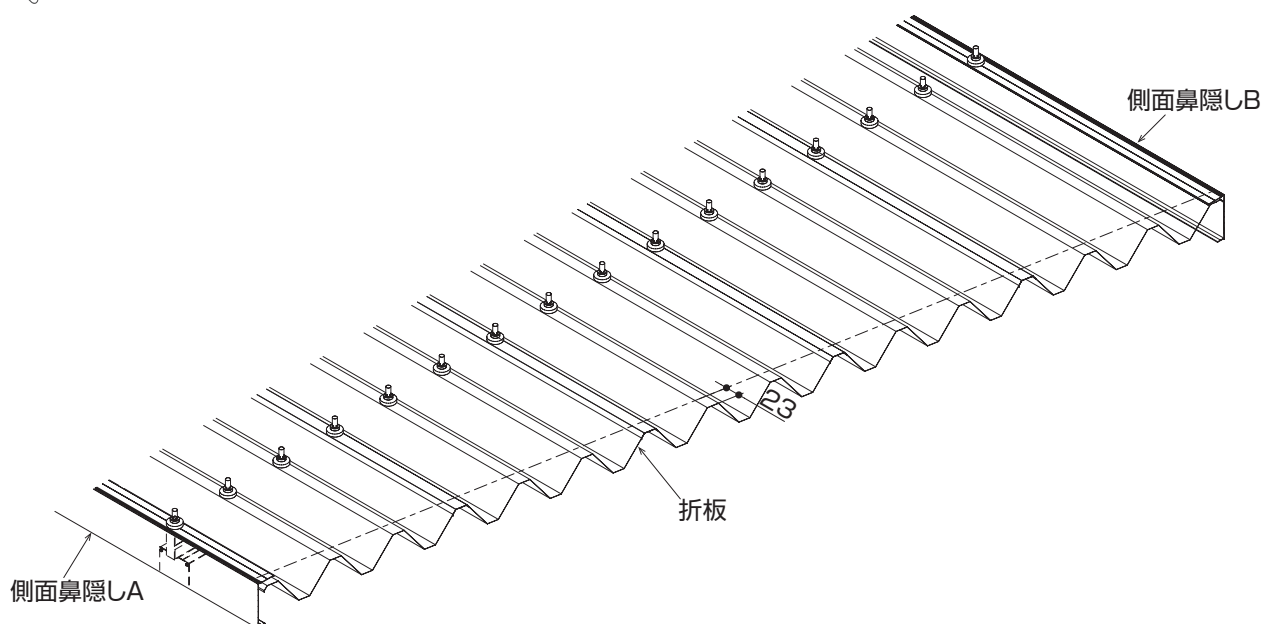
出隅部鼻隠しの取り付け

・図は、水下側の場合で示しています。

1 折板の端部から23mmの位置に水性ペン、またはテープなどで印を付けてください。

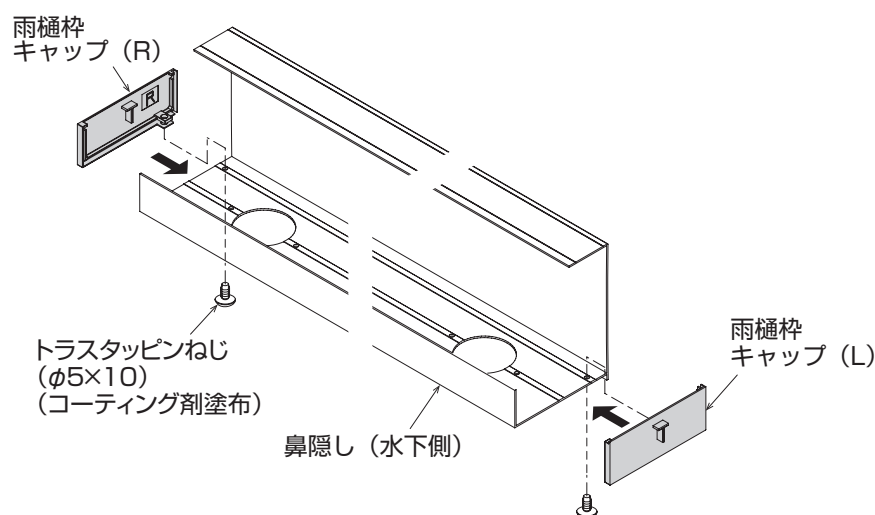


・折板にけがき線などのキズをつけないでください。さびの原因となります。

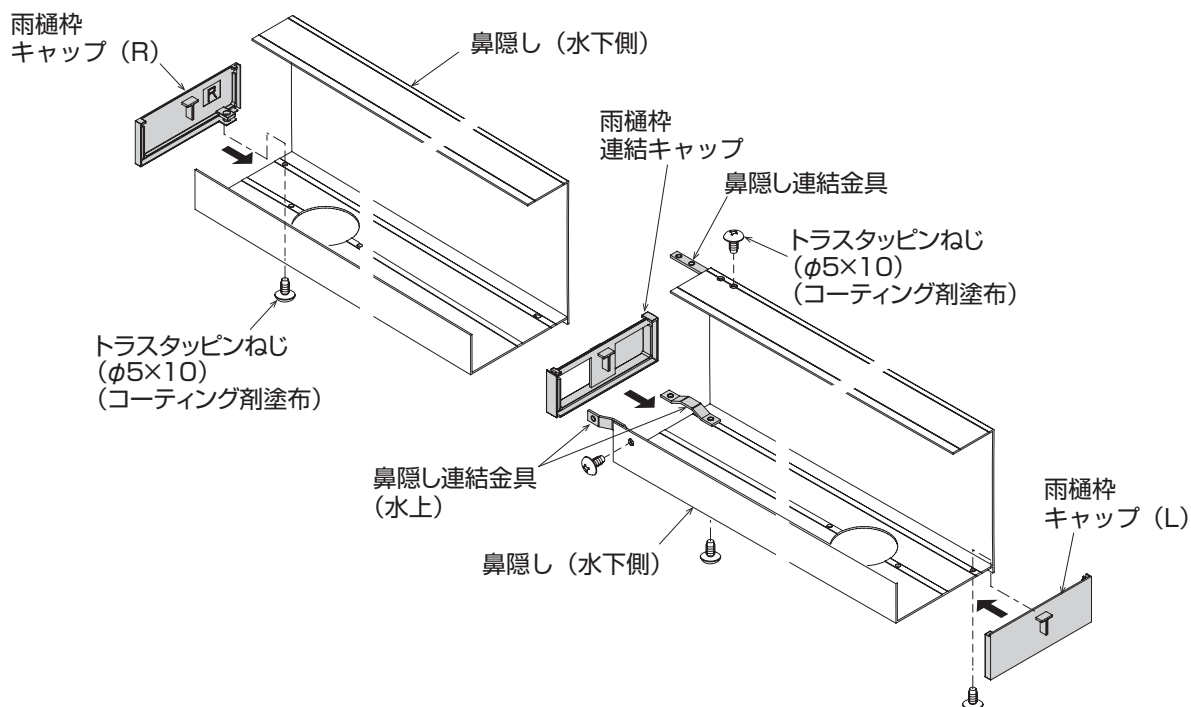


2 鼻隠し（水下側）の場合

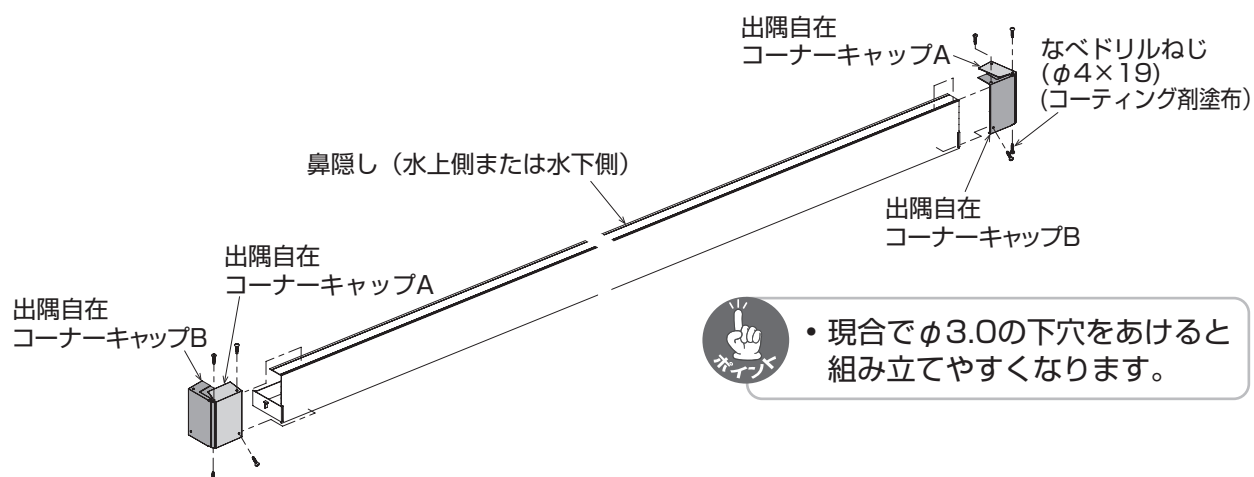
本体に同梱の組立・施工説明書を参照し、雨樋枠キャップを鼻隠し（水下側）の両端部に取り付けてください。



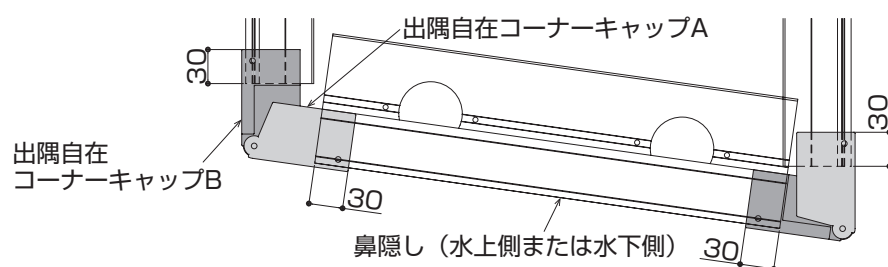
● 間口60、80の場合



3 出隅自在コーナーキャップを組み立て、鼻隠し (水上側または水下側) の両端に取り付けてください。



● 出隅コーナーキャップのみ込み寸法

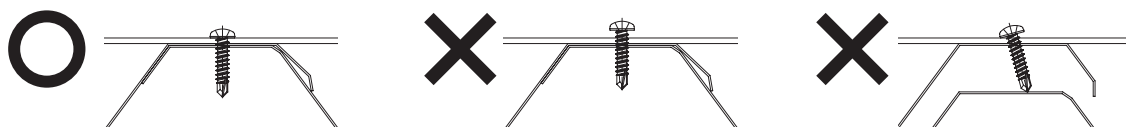


4 鼻隠し（水上側または水下側）を折板の印にあわせてかぶせ、側面鼻隠しA、側面鼻隠しBと連結してください。

5 鼻隠しの穴にあわせ、現合で折板にねじ留めしてください。

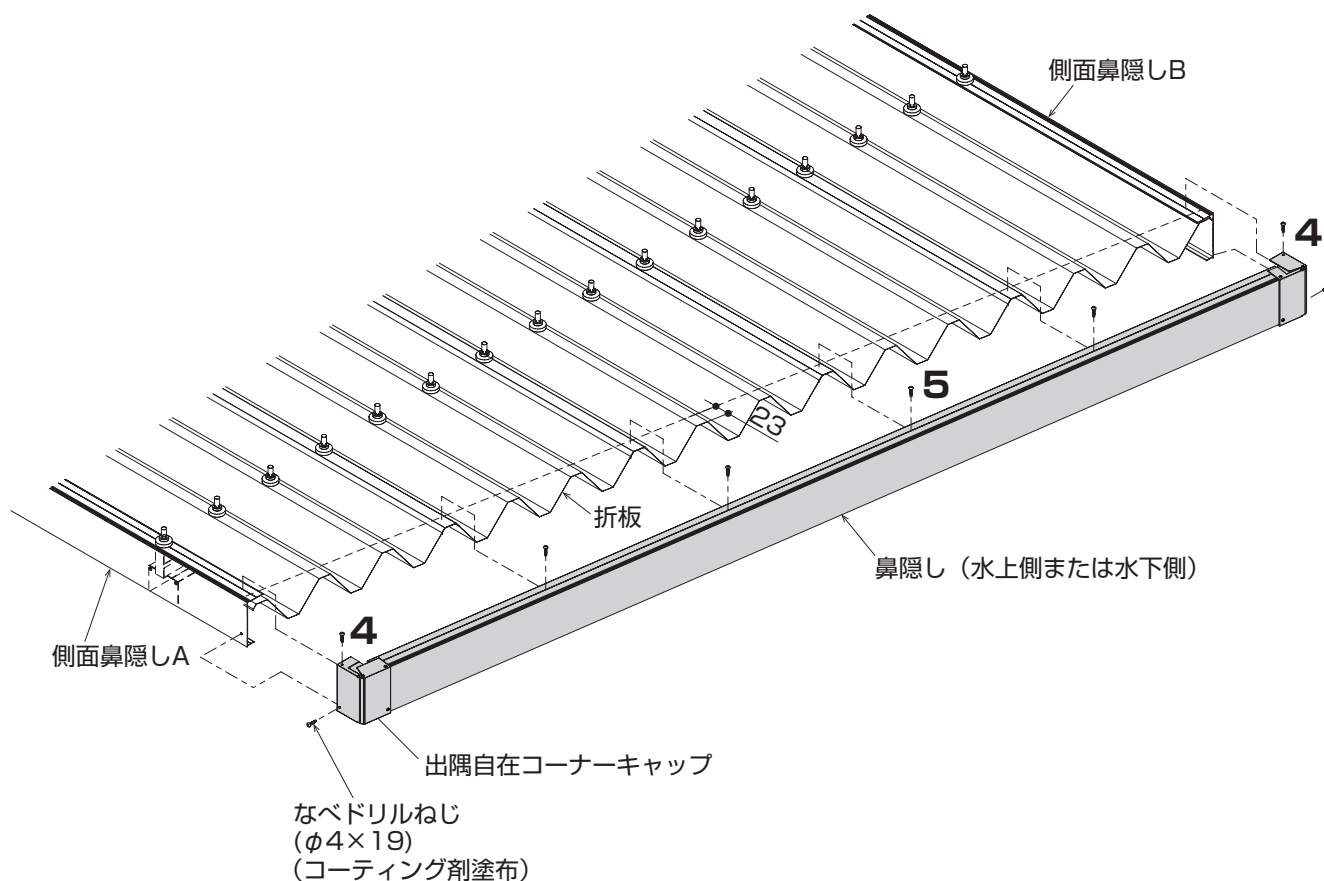
お願い

- 屋根材の取付ねじは、取り付け面に対して垂直に取り付けてください。
ねじの浮き、締め込み不足および斜めの取り付けは雨漏りの原因となります。



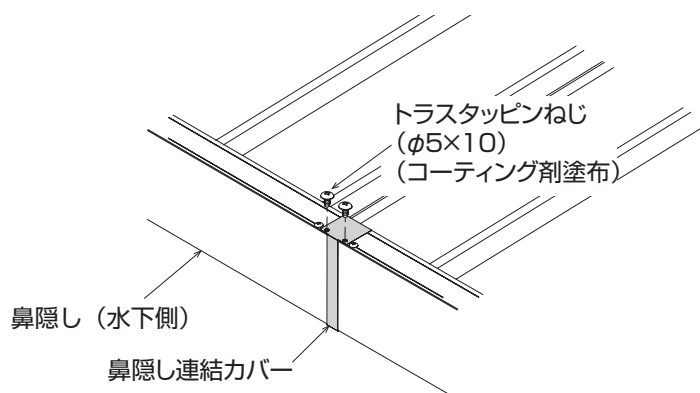
鼻隠しの穴が折板の山の位置とあわない場合

- ① 現合で鼻隠しに穴（φ5）をあけてねじ留めしてください。
- ② 既存の穴を、シーリング材で塞いでください。



6 間口60、80の場合

本体に同梱の組立・施工説明書を参照し、鼻隠し連結カバーを鼻隠し連結部に取り付けてください。



出隅B（右コーナー）の取り付け

制作制限



• 4本柱の場合、折板の切断寸法Bを500以下としてください。

■ 水下側の場合

A寸法は、雨水が雨樋に流れるようにするために、寸法例の寸法にて設定してください。

■ 寸法例

条件	出隅寸法	
θ	A	$B = A \times \tan \theta$
30°	575	332
	375	217
	175	101
45°	175	175

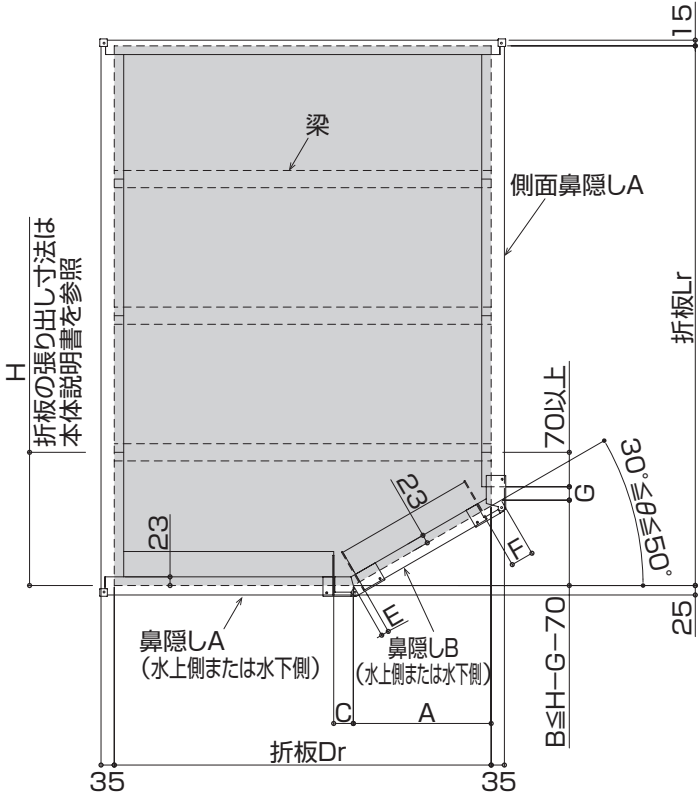
■ 水上側の場合

出隅寸法Aは、出隅寸法Bの制限を満たし、規格の鼻隠し長さで足りるようにするために、A寸法制限にて、任意に設定してください。

■ A寸法制限

30° の場合	$130 \leq A \leq 675$
35° の場合	$125 \leq A \leq 590$
40° の場合	$115 \leq A \leq 425$
45° の場合	$110 \leq A \leq 315$
50° の場合	$100 \leq A \leq 230$

• 図は、水下側の場合で示しています。





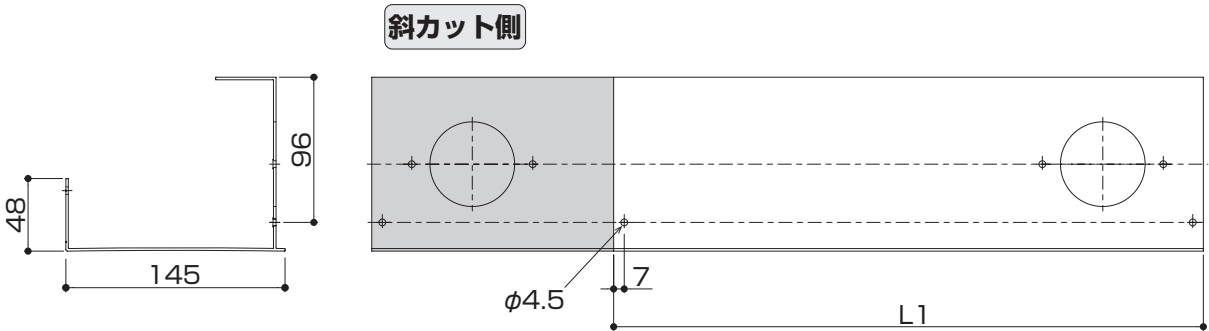
切断・加工

- 図は、水下側の場合で示しています。
-  部は切断部示しています。

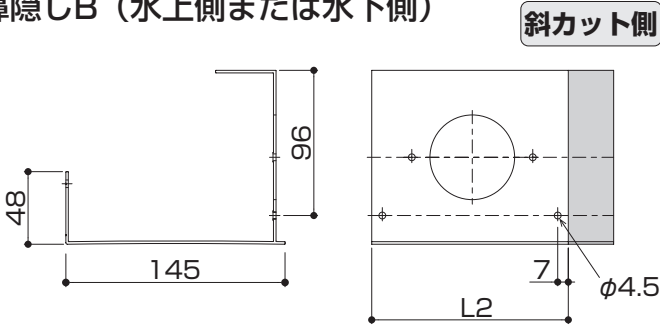
鼻隠し（水上側または水下側）

1 鼻隠し（水上側または水下側）を切断・加工してください。

●鼻隠しA（水上側または水下側）



●鼻隠しB（水上側または水下側）

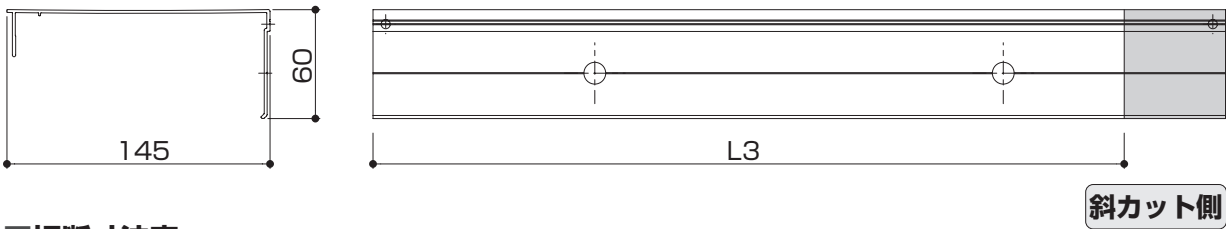


■切断寸法表

寸法例	条件			折板		C	E	F	鼻隠しA (水上側または水下側)	鼻隠しB (水上側または水下側)
	Dr	Lr	θ	A	B =A×TAN θ				L1 =Dr-A-C+23	L2 =A/COS θ -E-F
	5400	5390	30°	575	332	50	50	33	4798	584
				375	217				4998	350
				175	101				5198	119
			45°	175	175	48	48	35	5198	164

側面鼻隠しA

1 側面鼻隠しAを切断してください。

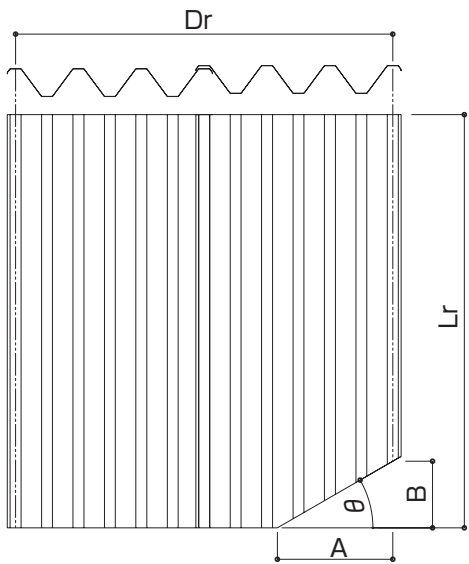


■切断寸法表

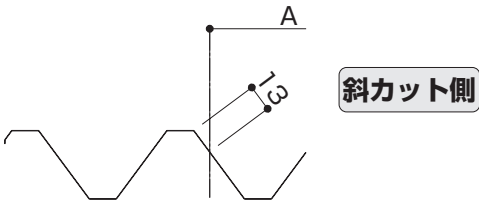
寸法例	条件			折板		G	J	側面鼻隠し
	Dr	Lr	θ	A	$B=A \times \tan \theta$			$L3=Lr-B-G+J$
	5400	5390	30°	575	332	51	13 (水下側)	5020
				375	217			5135
				175	101			5251
			45°	175	175	58		5170

折板

1 折板を切断してください。



- 折板は電動ニブラなどを使用すると、容易に切断できます。
- 折板にテープを貼って位置決めすると、容易に切断できます。



■切断寸法表

寸法例	条件			出隅寸法	
	Dr	Lr	θ	A	$B=A \times \tan \theta$
	5400	5390	30	575	332
				375	217
				175	101
			45	175	175

鼻隠しの取り付け

側面鼻隠しAの取り付け

1 本体に同梱の組立・施工説明書を参照し、側面鼻隠しAを取り付けてください。

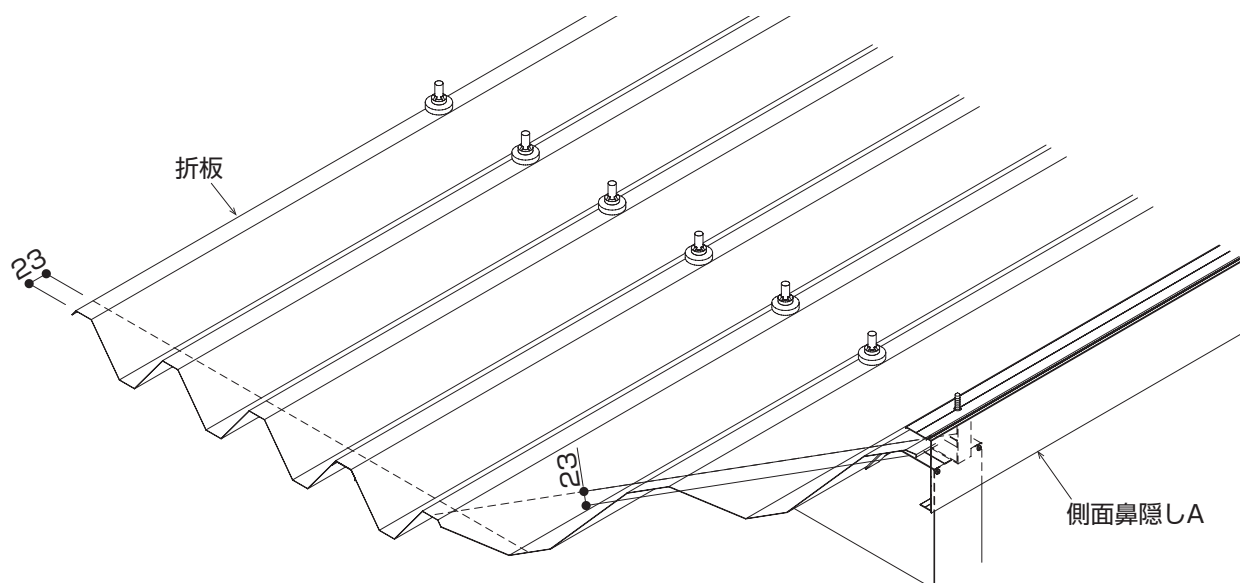
出隅部鼻隠しの取り付け

• 図は、水下側の場合で示しています。

1 折板の端部から、23mmの位置に水性ペン、またはテープなどで印を付けてください。

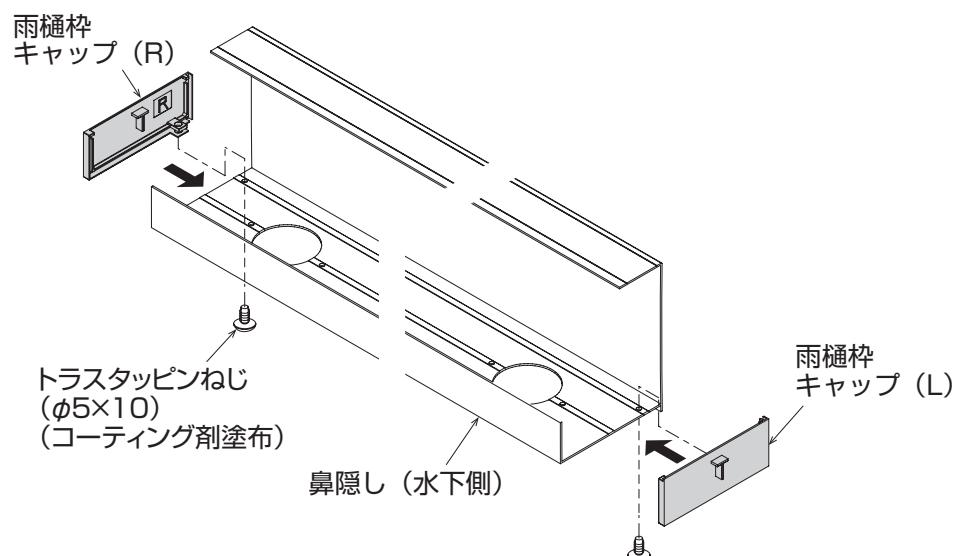


• 折板にけがき線などのキズをつけるとさびの原因となります。

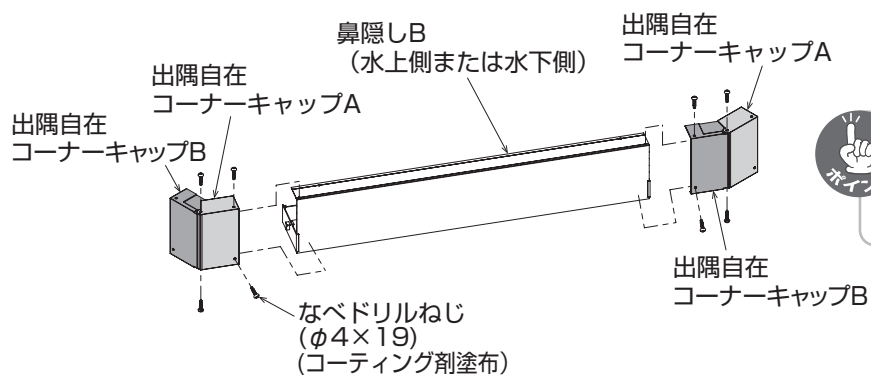


2 鼻隠しB（水下側）の場合

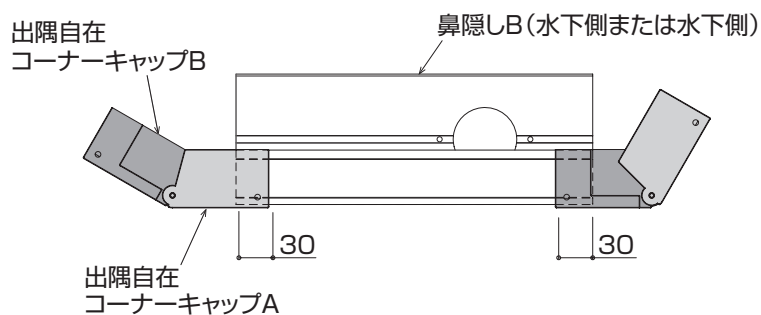
本体に同梱の組立・施工説明書を参照し、雨樋枠キャップを鼻隠しB（水下側）の両端部に取り付けてください。



- 3** 出隅自在コーナーキャップを組み立て、鼻隠しB（水上側または水下側）の両端に取り付けてください。



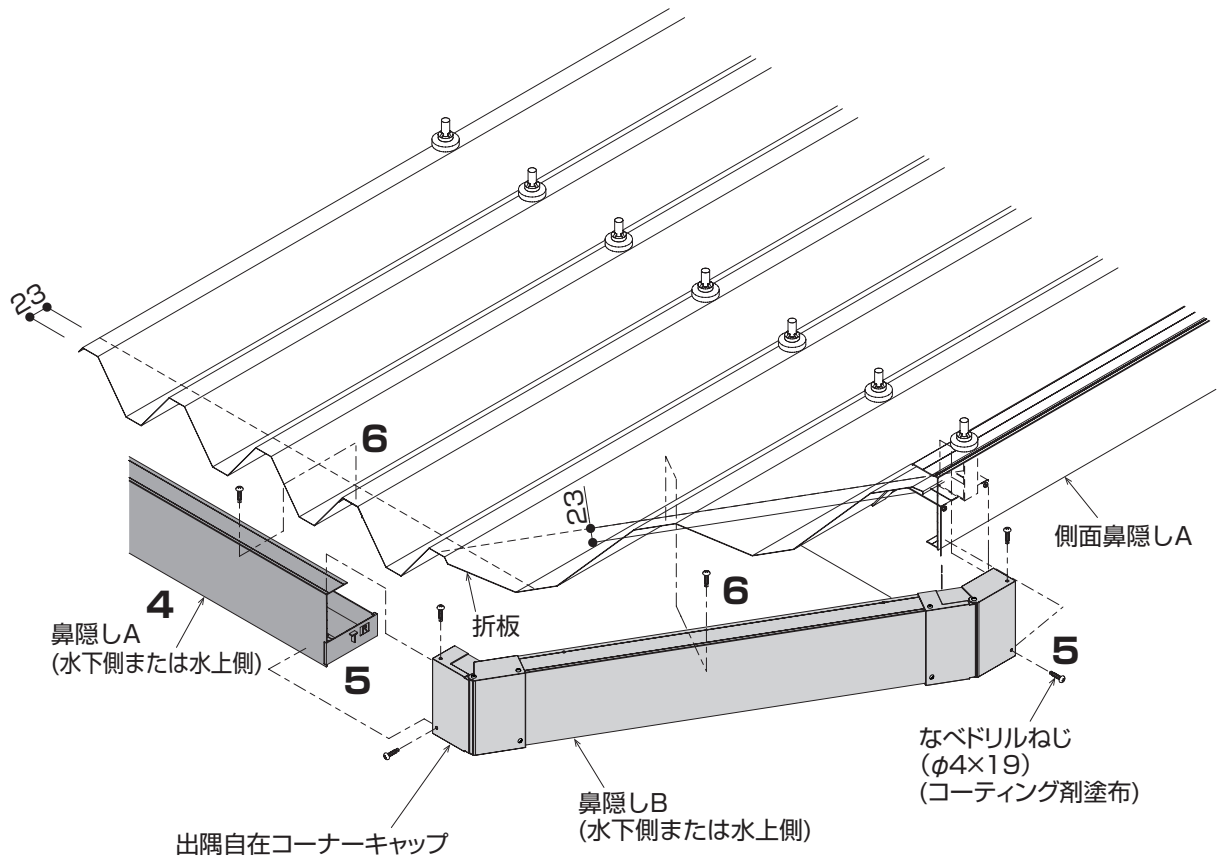
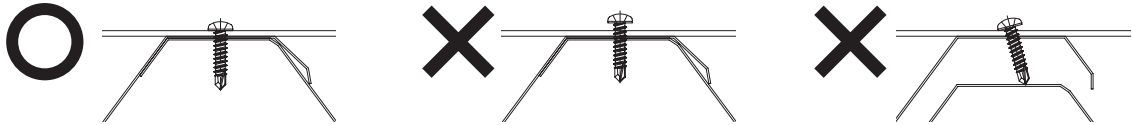
● 出隅コーナーキャップのみ込み寸法



- 4** 鼻隠しA（水上側または水下側）を折板の印にあわせてかぶせ、側面鼻隠しと連結してください。
- 5** 鼻隠しB（水上側または水下側）を折板の印にあわせてかぶせ、側面鼻隠しA、鼻隠しA（水上側または水下側）と連結してください。
- 6** 鼻隠しの穴にあわせ、現合で折板に取り付けてください。

お願い

- 屋根材の取付ねじは、取り付け面に対して垂直に取り付けてください。
ねじの浮き、締め込み不足および斜めの取り付けは雨漏りの原因となります。



出隅B（左コーナー）の取り付け

制作制限



• 4本柱の場合、折板の切断寸法Bを500以下としてください。

■ 水下側の場合

A寸法は、雨水が雨樋に流れるようにするために、寸法例の寸法にて設定してください。

■ 寸法例

条件	出隅寸法	
θ	A	$B = A \times \tan \theta$
30°	600	346
	400	231
	200	115
45°	215	215

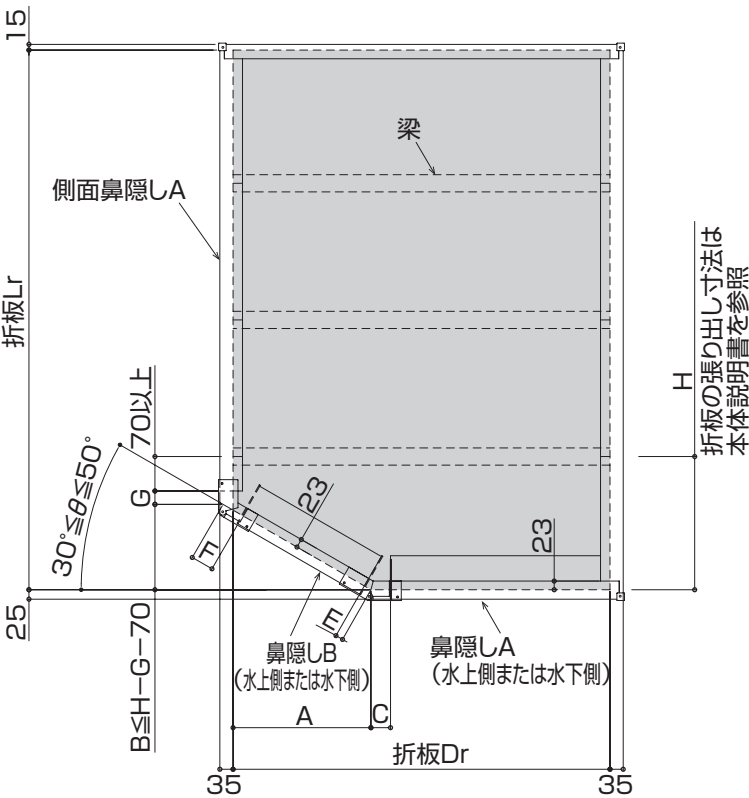
■ 水上側の場合

出隅寸法Aは、出隅寸法Bの制限を満たし、規格の鼻隠し長さで足りるようにするために、A寸法制限にて、任意に設定してください。

■ A寸法制限

30°の場合	$130 \leq A \leq 675$
35°の場合	$125 \leq A \leq 590$
40°の場合	$115 \leq A \leq 425$
45°の場合	$110 \leq A \leq 315$
50°の場合	$100 \leq A \leq 230$

• 図は、水下側の場合で示しています。





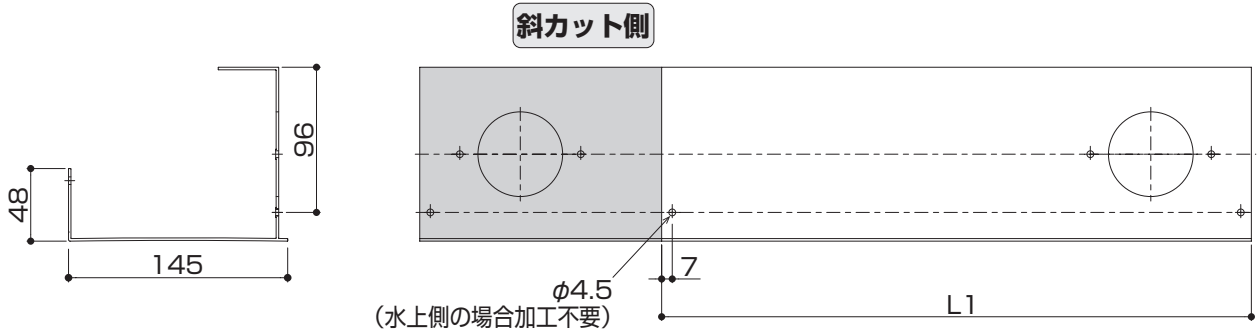
切断・加工

- 図は、水下側の場合で示しています。
- 部は切断部を示しています。

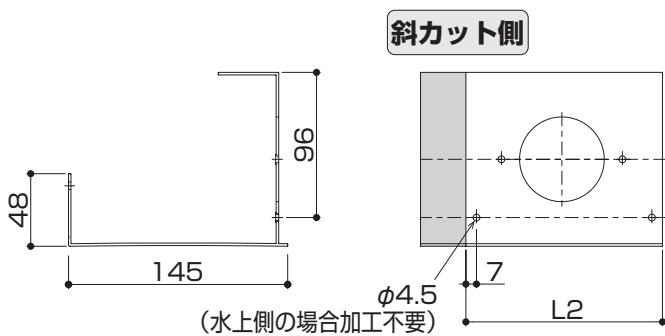
鼻隠し（水上側または、水下側）

1 鼻隠し（水上側または、水下側）を切断・加工してください。

●鼻隠しA（水上側または水下側）



●鼻隠しB（水上側または水下側）

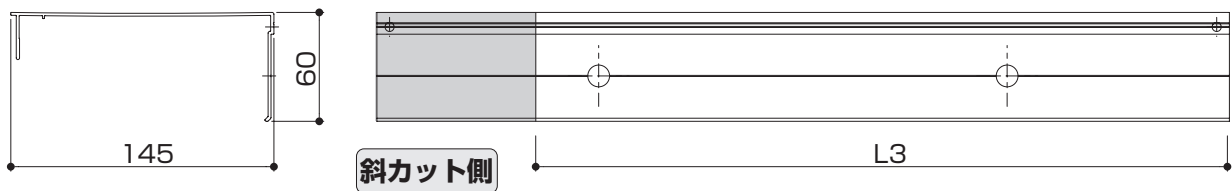


■切断寸法表

寸法例	条件		θ	出隅寸法		C	E	F	鼻隠しA (水上側または水下側)	鼻隠しB (水上側または水下側)
	Dr	Lr		A	B $=A \times \tan \theta$				L1 $=Dr - A - C + 23$	L2 $=A / \cos \theta - E - F$
	5400	5390	30°	600	346	48	50	33	4775	610
				400	231				4975	379
				200	115				5175	148
			45°	215	215		41		5160	230

側面鼻隠しA

1 側面鼻隠しAを切断してください。

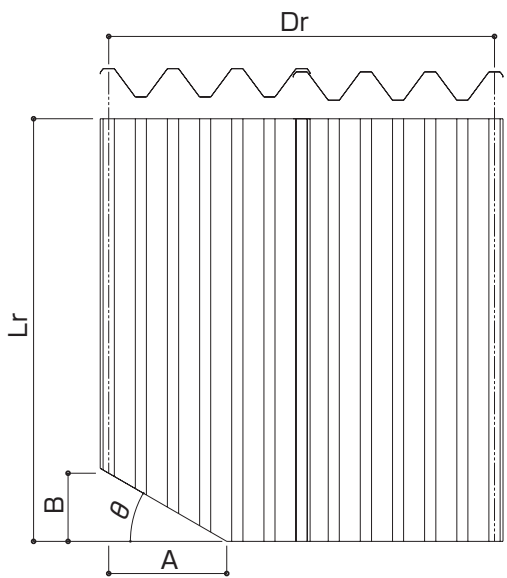


■切断寸法表

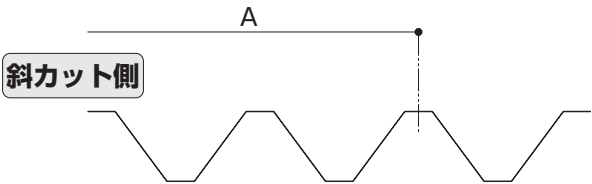
寸法例	条件		θ	出隅寸法		G	J	側面鼻隠し
	Dr	Lr		A	$B=A \times \tan \theta$			$L3=Lr-B-G+J$
	5400	5390	30°	600	346	51	13 (水下側)	5006
				400	231			5121
				200	115			5237
			45°	215	215	58		5130

折板

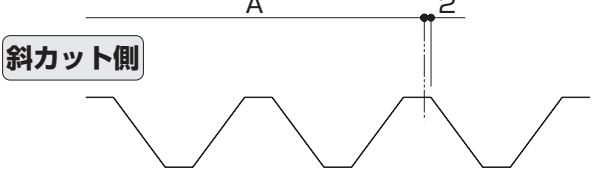
1 折板を切断してください。



● $\theta 30^\circ$ の場合



● $\theta 45^\circ$ の場合



■切断寸法表

寸法例	条件		θ	出隅寸法	
	Dr	Lr		A	$B=Dr \times \tan \theta$
	5400	5390	30	600	346
				400	231
				200	115
			45	215	215



- 折板は電動ニブラなどを使用すると、容易に切断できます。
- 折板にテープを貼って位置決めすると、容易に切断できます。

鼻隠しの取り付け

側面鼻隠しAの取り付け

- 1 本体に同梱の組立・施工説明書を参照し、側面鼻隠しAを取り付けてください。

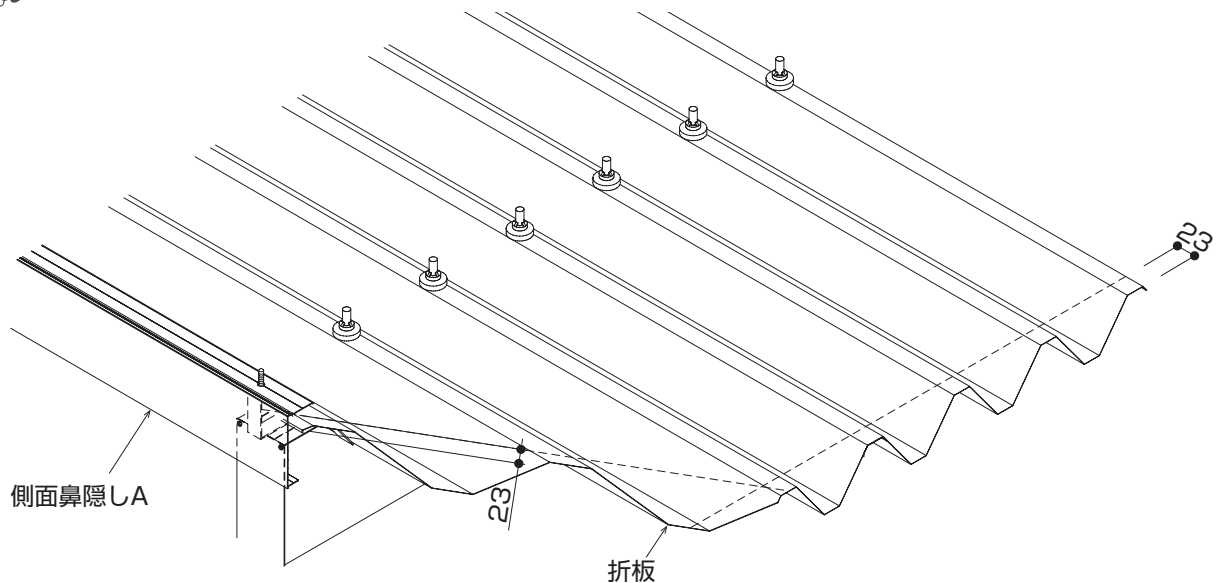
出隅部鼻隠しの取り付け

- 図は、水下側の場合で示しています。

- 1 折板の端部から23mmの位置に水性ペン、またはテープなどで印を付けてください。



- 折板にけがき線などのキズをつけるとさびの原因となります。



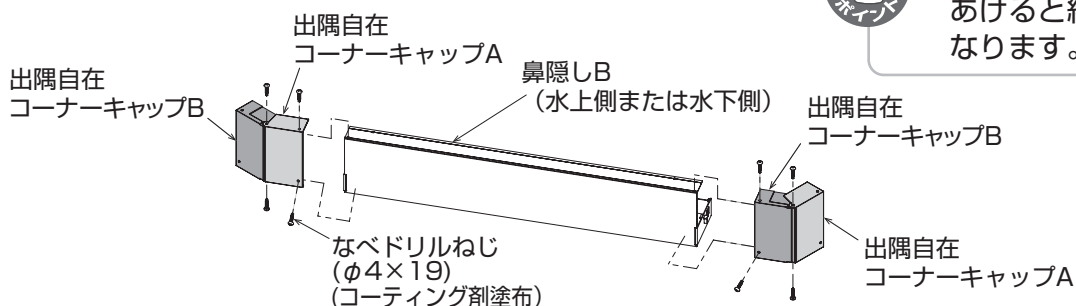
2 鼻隠しB（水下側）の場合

本体に同梱の組立・施工説明書を参照し、雨樋枠キャップを鼻隠しB（水下側）の両端部に取り付けてください。（→P.33）参照

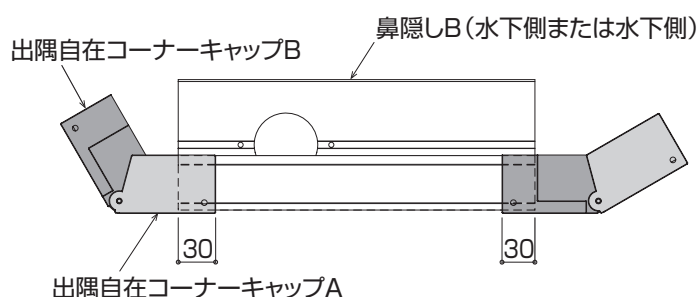
- 3 出隅自在コーナーキャップを組み立て、鼻隠しB（水上側または水下側）の両端に取り付けてください。



- 現場でφ3.0の下穴をあけると組み立てやすくなります。



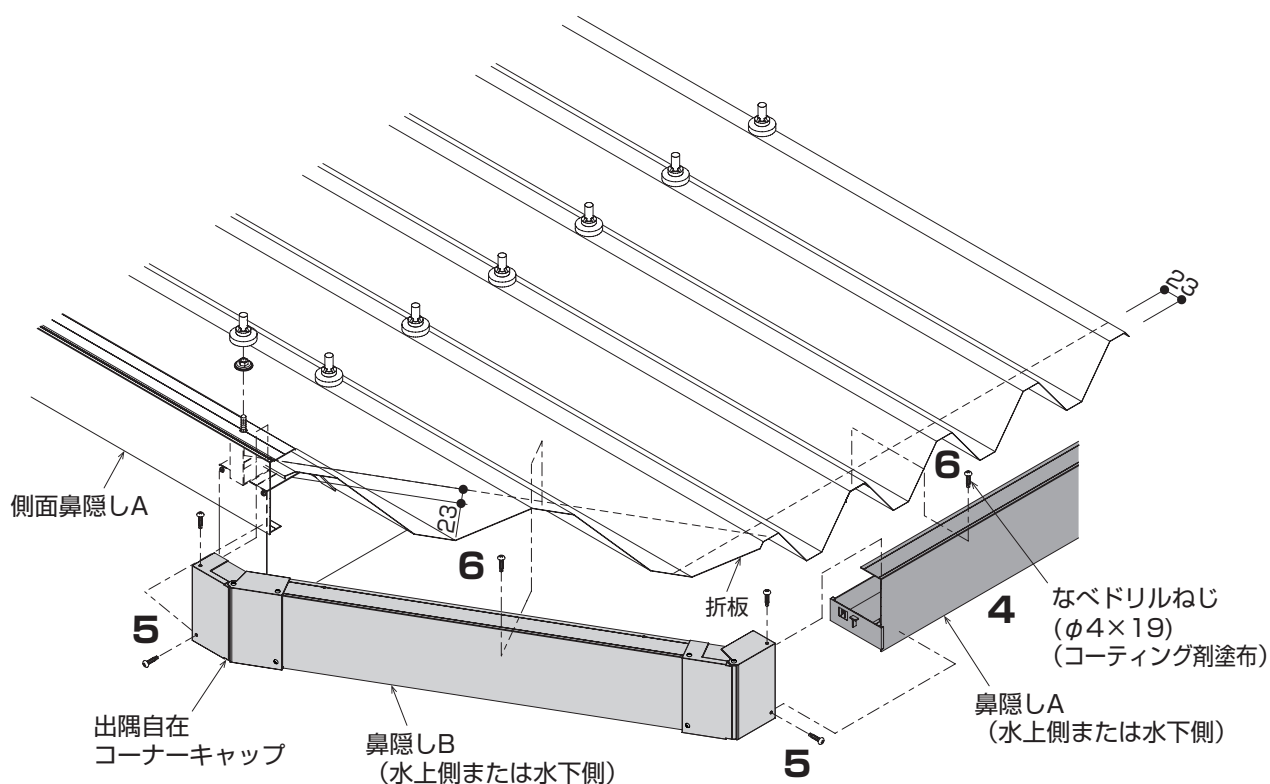
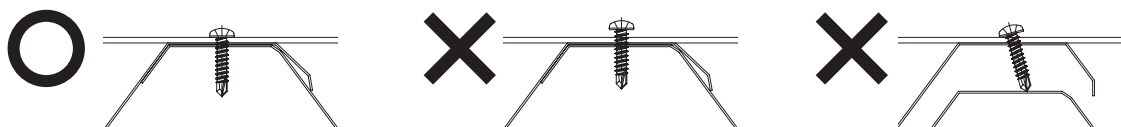
● 出隅コーナーキャップのみ込み寸法

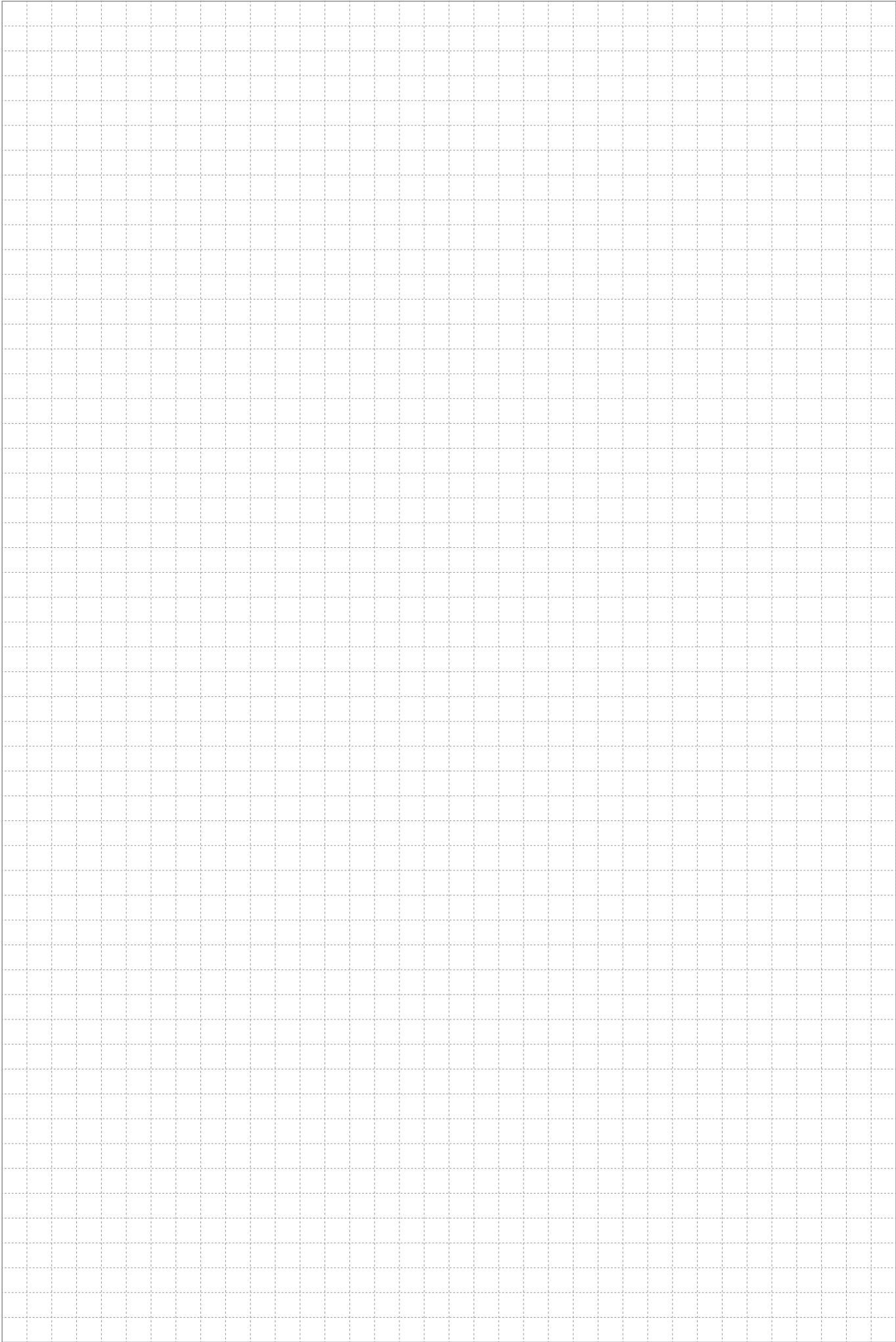


- 4** 鼻隠しA（水上側または水下側）を折板の印にあわせてかぶせ、側面鼻隠しと連結してください。
- 5** 鼻隠しB（水上側または水下側）を折板の印にあわせてかぶせ、側面鼻隠しA、鼻隠しA（水上側または水下側）と連結してください。
- 6** 鼻隠しの穴にあわせ、現合で折板にねじ留めしてください。

お願い

- 屋根材の取付ねじは、取り付け面に対して垂直に取り付けてください。
ねじの浮き、締め込み不足および斜めの取り付けは雨漏りの原因となります。





お客様メモ

株式会社大仙

●表示内容は 2026 年 6 月現在のものです。

ホームページ <https://daisen-exterior.jp/>